

令和3年度 新生物（悪性及び良性・その他の新生物）の動向に関する調査

令和5年9月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

本調査は、1,308 組合提供の診療報酬明細書（レセプト）データをもとに、令和3年度の新生物（悪性及び良性・その他の新生物）の受診状況及び医療費の動向をとりまとめたものです。

【調査結果のポイント】

1. 新生物の医療費の概況

（医療費及び構成割合）

- 疾病医療費総額（3 兆 5,941 億円）に占める新生物 11 疾患医療費の割合は、12.1%（4,334 億円）。

（対前年度比伸び率）

- 新生物は 3.3%の増加、医科入院：0.0%、医科入院外：5.5%増。

2. 新生物 11 疾患の受診状況

（加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均））

- 医科入院では、その他の新生物が 0.49 人と最も多く、次いで、良性新生物：0.36 人、結腸の悪性新生物：0.17 人。
- 医科入院外では、良性新生物が 15.33 人と最も多く、次いで、その他の新生物：8.32 人、結腸の悪性新生物：3.32 人。

3. 新生物 11 疾患でみた医療費の動向

（医療費及び構成割合）

- 医科入院（8,671 億円）に占める新生物医療費（1,728 億円）の割合は 19.9%。その他の悪性新生物が 6.1%（531 億円）と最も高く、次いで、良性新生物：4.4%（384 億円）、乳房の悪性新生物：1.8%（155 億円）。
- 医科入院外（2 兆 7,270 億円）に占める新生物医療費（2,605 億円）の割合は 9.6%。その他の悪性新生物が 2.7%（732 億円）と最も高く、次いで、乳房の悪性新生物：1.7%（472 億円）、良性新生物：1.6%（447 億円）。

（受診者 1 人当たり医療費）

- 医科入院では、白血病：994 万 3,306 円が最も高く、次いで、悪性リンパ腫：675 万 1,801 円、直腸の悪性新生物（591 万 9,572 円）。
- 医科入院外では、白血病：163 万 3,216 円が最も高く、次いで、乳房の悪性新生物：63 万 3,966 円、③気管・肺の悪性新生物：60 万 1,634 円。

目次

本調査における留意点、用語の定義	3
1. 疾病 19 分類「新生物（悪性及び良性・その他の新生物）」	
(1) 医療費の概況	6
(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向	
1) 医科入院	8
2) 医科入院外	10
2. 新生物 11 疾患の受診状況	
(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	
1) 医科入院	12
2) 医科入院外	13
(2) 受診者数（年度平均）の構成割合	
1) 医科入院	14
2) 医科入院外	15
(3) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合	
1) 医科入院	16
2) 医科入院外	19
(4) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数	
1) 医科入院	22
2) 医科入院外	23
3. 新生物 11 疾患でみた医療費の動向	
(1) 医療費の概況	
1) 医科入院	24
2) 医科入院外	28
(2) 医療費の構成割合	
1) 医科入院	32
2) 医科入院外	33
(3) 受診者 1 人当たり医療費	
1) 医科入院	34
2) 医科入院外	35
(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合	
1) 医科入院	36
2) 医科入院外	39
(5) 推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数	42

本調査における留意点、用語の定義

1. 新生物（悪性及び良性・その他の新生物）について

調査対象は、疾病 19 分類上の「新生物」以下 11 疾患としている。

疾患名	疾病コード
①胃の悪性新生物	0201
②結腸の悪性新生物	0202
③直腸の悪性新生物	0203
④肝・肝内胆管の悪性新生物	0204
⑤気管・肺の悪性新生物	0205
⑥乳房の悪性新生物	0206
⑦子宮の悪性新生物	0207
⑧悪性リンパ腫	0208
⑨白血病	0209
⑩その他の悪性新生物 *	0210
⑪良性・その他の新生物 *	0211

1. 「その他の悪性新生物」(0210) の例：

その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物、その他の悪性新生物

2. 「良性・その他の新生物」(0211) の例：

子宮頸（部）の上皮内癌、その他の上皮内新生物、皮膚の良性新生物、乳房の良性新生物、子宮平滑筋腫、卵巣の良性新生物、腎尿路の良性新生物、中枢神経系のその他の新生物、その他の新生物-等

2. 調査対象 1,308 組合の医療費データ及び加入者数

1,308 組合の診療報酬明細書（レセプト）データを集計対象とした。また、対前年度比伸び率の算出にあたっては、1,308 組合のうち、データ提供のあった令和 3 年度と 2 年度同一の 1,235 組合を集計対象としている。

a) 集計対象とした診療報酬明細書（レセプト）データ

1,308 組合	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科・調剤【計】	257,588,904	3,757,658,653,210
医科	157,738,440	2,851,065,457,200
調剤	99,850,464	906,593,196,010

1,308 組合	加入者数（人）
本人・家族【計】	27,191,747
本人	15,829,097
家族	11,362,758

b) 対前年度比伸び率：1,235 組合（1,308 組合のうち令和 3 年度と 2 年度同一組合）

1,235 組合	レセプト件数 (件)		医療費総額 (円)	
	令和 3 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
医科・調剤【計】	233,765,483	215,836,483	3,414,033,272,510	3,141,647,031,400
医科	143,221,260	132,217,063	2,592,519,990,330	2,363,024,587,550
調剤	90,544,223	83,619,420	821,513,282,180	778,622,443,850

1,235 組合	加入者数 (人)	
	令和 3 年度	令和 2 年度
本人・家族【計】	24,739,379	24,951,643
本人	14,438,671	14,433,025
家族	10,300,811	10,518,672

3. 疾病別医療費及び受診者数の取り扱いについて

- 本調査の疾病分類医療費及び受診者数は、1 枚の診療報酬明細書（レセプト）に記載された 1 ないし複数の疾病名に対して、各疾病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、疾病名ごとに医療費及び受診者数を振り分けた結果に基づき算出した、推計医療費及び推計受診者数である。
- また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。
- このため、診療区分別医療費を合計した医療費【計】と疾病分類別医療費を合計した疾病分類医療費【計】が必ずしも一致しない場合がある。
- なお、公的な疾病統計におけるレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1 レセプト 1 傷病名による医療費及び受診者数とは異なる点に留意されたい。

4. 用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000 人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したもの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したものの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費の 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、受診率、1 件当たり日数、1 日当たり医療費の積に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 受診率 × 1 件当たり日数 × 1 日当たり医療費)

⑥ 平均受診者数

当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したものの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数 (各月末の加入者数の和を 12 で除したもの) で除し 1,000 倍したものの。

⑧ 受診者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したものの。

なお、上記①の加入者 1 人当たり医療費は、加入者 1 人当たり受診者数、受診者 1 人当たり医療費に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 加入者 1 人当たり受診者数 × 受診者 1 人当たり医療費)

⑨ 推計平均在院日数

退院日を含む平均在院日数の推計値。

⑩ 推計 1 入院当たり医療費

入院患者 1 人に掛かる入院してから退院までの医療費の推計値。

⑪ 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

当該年度の 4 月～3 月までの各月に入院した患者数の合計 (推計) を 1,000 倍したものの。

1. 疾病 19 分類「新生物（悪性及び良性・その他の新生物）」

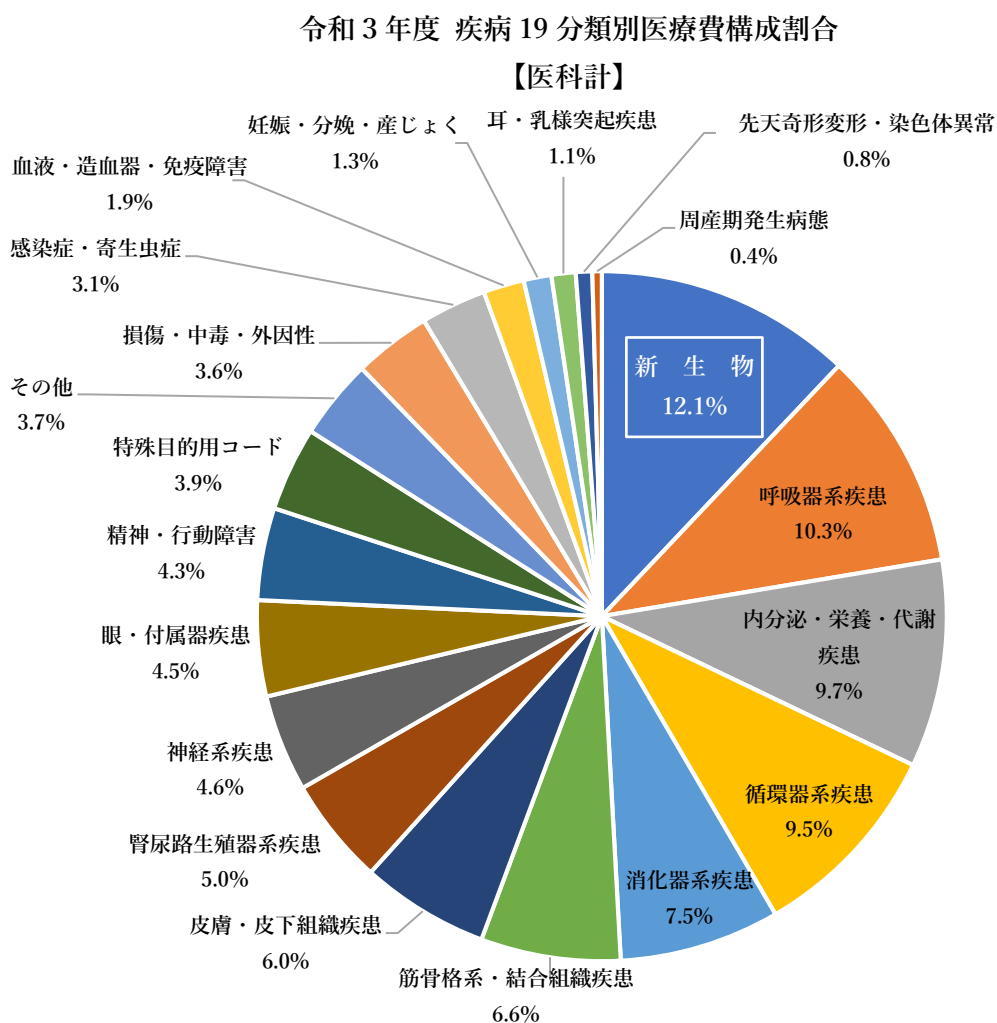
(1) 医療費の概況

① 医療費及び構成割合

- 疾病分類医療費計（3 兆 5,941 億円）に占める新生物の割合は 12.1%（4,334 億円）となっている。
- 新生物（12.1%）の内訳は、医科入院：4.8%、医科入院外：7.3%。

令和 3 年度 医療費及び構成割合

疾病分類【計】	医療費（円）	構成割合（%）
新生物	433,353,693,040	12.1
（再掲） 医科入院	172,805,296,220	4.8
（再掲） 医科入院外	260,548,396,820	7.3



② 対前年度比伸び率

○ 新生物【計】は3.3%の増加、そのうち入院は0.0%、入院外は5.5%増加した。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	伸び率 (%)
疾病分類【計】	8.7
新生物【計】	3.3
医科入院	0.0
医科入院外	5.5

参考：疾病19分類別医療費構成割合【医科計】（前年度調査との比較）

疾病分類名	令和3年度 (1,308組合)	(参考) 2年度調査 (1,250組合)
新生物	12.1%	12.7%
呼吸器系疾患	10.3%	10.0%
内分泌・栄養・代謝疾患	9.7%	10.1%
循環器系疾患	9.5%	10.0%
消化器系疾患	7.5%	7.8%
筋骨格系・結合組織疾患	6.6%	6.8%
皮膚・皮下組織疾患	6.0%	6.3%
腎尿路生殖器系疾患	5.0%	5.3%
神経系疾患	4.6%	4.7%
眼・付属器疾患	4.5%	4.7%
精神・行動障害	4.3%	4.5%
特殊目的用コード	3.9%	1.0%
その他	3.8%	3.2%
損傷・中毒・外因性	3.6%	3.8%
感染症・寄生虫症	3.1%	3.3%
血液・造血器・免疫障害	1.9%	2.0%
妊娠・分娩・産じょく	1.3%	1.5%
耳・乳様突起疾患	1.1%	1.1%
先天奇形変形・染色体異常	0.8%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

注1) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

2) 「特殊目的用コード」とは、新型コロナウイルス（COVID-19）、重症急性呼吸器症候群（SARS）、ジカウイルス病等である。以降、同じ。

(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向

1) 医科入院

① 加入者1人当たり医療費

○ 新生物は6,355円と、疾病19分類中、最も高い。



② 対前年度比伸び率

- 新生物は 0.9%増加。要因として、1 件当たり日数は▲4.4%と大きく減少したが、1 日当たり医療費が 4.6%、受診率が 0.9%、それぞれ増加した。

令和 3 年度【医科入院】対前年度比伸び率 (%) (※両年度同一の 1,235 組合ベース)

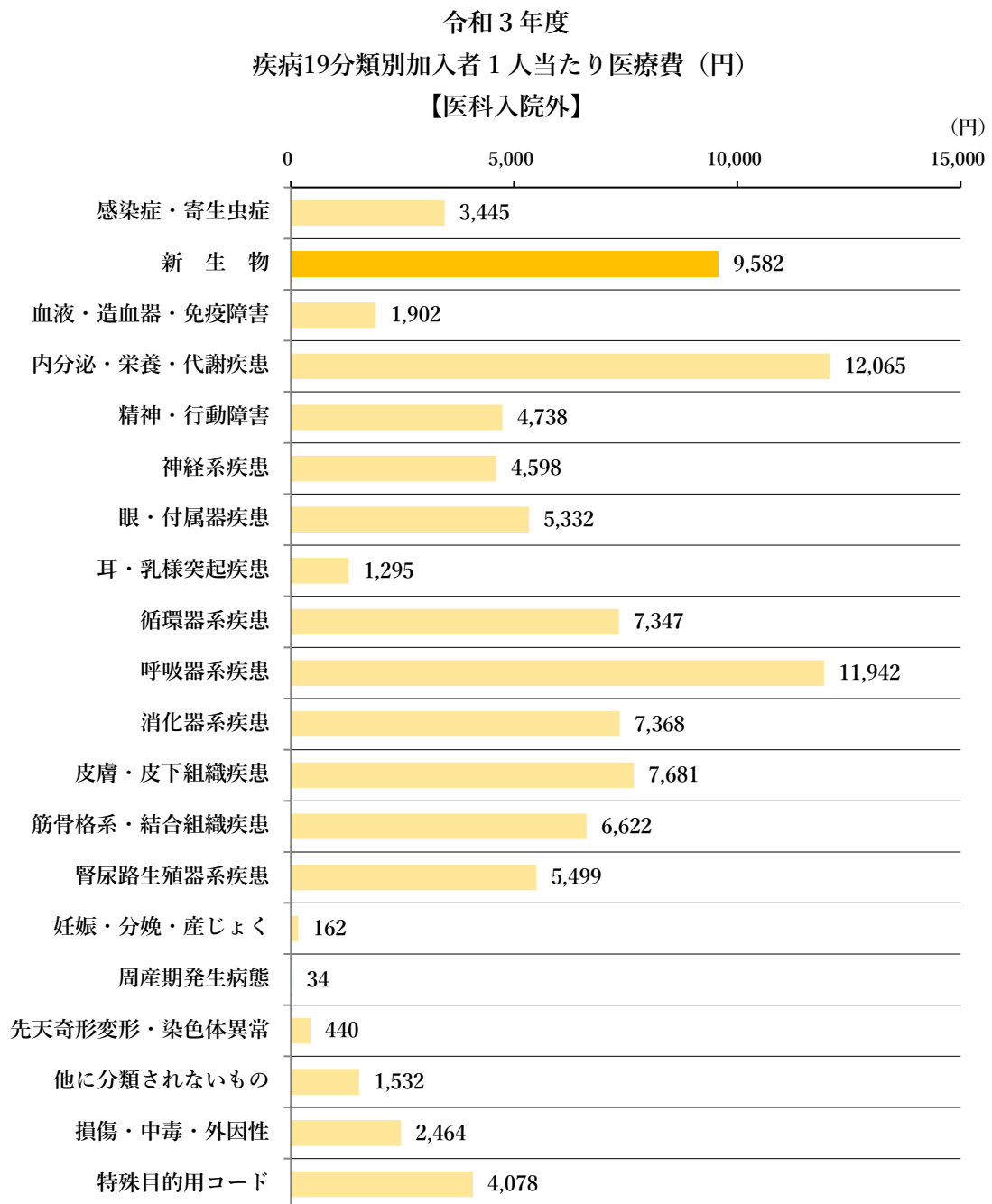
疾病分類名	加入者 1 人当たり 医療費 ¹	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲3.4	2.4	▲3.4	▲2.6
新 生 物	0.9	0.9	▲4.4	4.6
血液・造血器・免疫障害	▲1.7	1.0	▲2.8	0.1
内分泌・栄養・代謝疾患	▲2.8	0.9	▲2.5	▲1.3
精神・行動障害	▲4.1	▲3.2	0.1	▲1.0
神経系疾患	▲4.2	▲2.0	▲2.3	▲0.1
眼・付属器疾患	▲0.3	▲2.9	▲5.2	8.2
耳・乳様突起疾患	▲0.5	1.5	▲4.3	2.6
循環器系疾患	1.2	0.6	▲2.2	2.8
呼吸器系疾患	13.4	7.8	▲6.2	12.2
消化器系疾患	▲2.1	▲0.0	▲2.5	0.4
皮膚・皮下組織疾患	▲4.6	0.0	▲2.7	▲1.8
筋骨格系・結合組織疾患	1.9	1.6	▲2.4	2.8
腎尿路生殖器系疾患	▲0.5	0.4	▲2.7	1.8
妊娠・分娩・産じょく	▲1.9	▲1.3	0.4	▲0.9
周産期発生病態	8.8	4.5	▲0.8	5.1
先天奇形変形・染色体異常	3.0	3.1	▲3.5	3.7
他に分類されないもの	1.0	2.8	▲3.1	1.4
損傷・中毒・外因性	▲1.8	▲2.7	▲2.1	3.1
特殊目的用コード	243.3	265.6	▲ 6.1	0.2

¹ 加入者 1 人当たり医療費 = 受診率 × 1 件当たり日数 × 1 日当たり医療費

2) 医科入院外

① 加入者1人当たり医療費

- 新生物は9,582円で、疾病19分類中、内分泌・栄養・代謝：1万2,065円、呼吸器系疾患：1万1,942円に次いで高い。



② 対前年度比伸び率

○ 新生物は 6.4%増加した。要因として、1 件当たり日数が▲1.9%、1 日当たり医療費が▲1.2%、それぞれ減少したが、受診率が 9.1%と大きく増加した。

令和 3 年度【医科入院外】対前年度比伸び率 (%) (※両年度同一の 1,235 組合ベース)

疾病分類名	加入者 1 人当たり ² 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	3.1	5.5	0.0	▲2.1
新生物	6.4	9.1	▲1.9	▲1.2
血液・造血器・免疫障害	8.7	9.1	0.6	▲0.7
内分泌・栄養・代謝疾患	5.7	7.9	▲0.7	▲1.8
精神・行動障害	5.6	8.2	0.0	▲2.1
神経系疾患	10.5	8.6	▲0.6	2.3
眼・付属器疾患	4.1	3.0	0.8	0.3
耳・乳様突起疾患	13.5	10.4	0.6	2.2
循環器系疾患	4.0	7.2	▲0.7	▲2.6
呼吸器系疾患	13.4	12.7	2.0	▲1.6
消化器系疾患	8.6	7.4	▲0.7	2.0
皮膚・皮下組織疾患	5.6	3.6	0.7	0.8
筋骨格系・結合組織疾患	5.7	8.5	▲0.5	▲2.1
腎尿路生殖器系疾患	4.9	8.9	▲1.8	▲1.7
妊娠・分娩・産じょく	1.9	0.9	0.5	0.5
周産期発生病態	▲5.6	8.8	1.9	▲15.9
先天奇形変形・染色体異常	9.4	7.7	▲1.4	2.5
他に分類されないもの	20.8	22.3	▲1.9	0.6
損傷・中毒・外因性	10.1	12.6	▲2.8	0.6
特殊目的用コード	402.3	474.5	0	-12.1

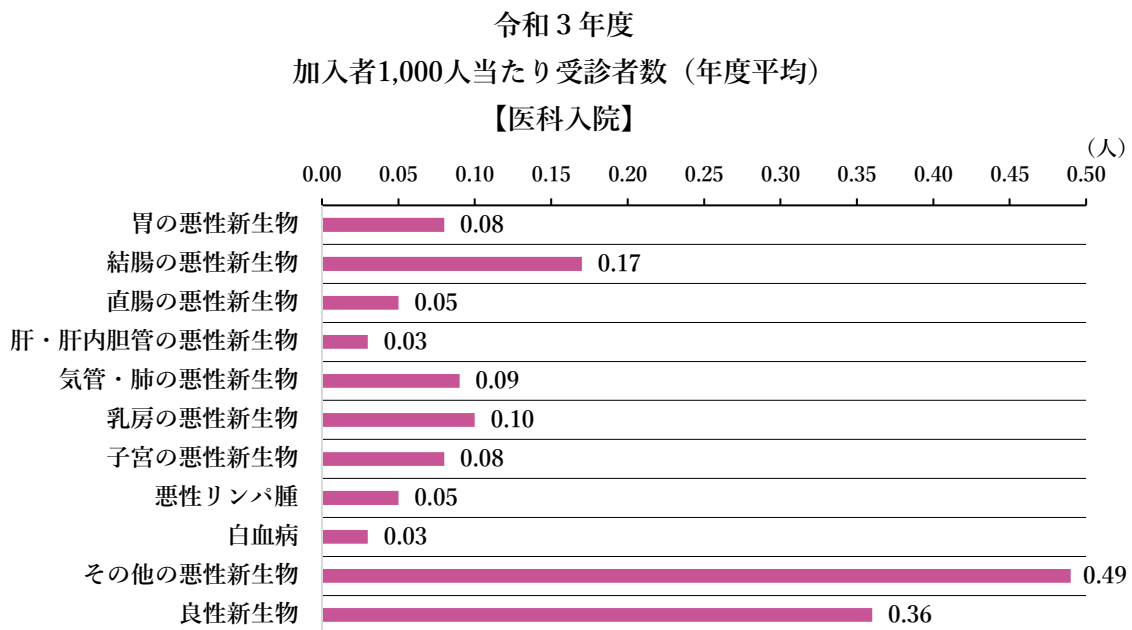
² 加入者 1 人当たり医療費 = 受診率 × 1 件当たり日数 × 1 日当たり医療費

2. 新生物 11 疾患の受診状況

(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

1) 医科入院

- 新生物全体では 1.54 人。その他の悪性新生物が 0.49 人と最も多く、次いで、良性新生物：0.36 人、結腸の悪性新生物：0.17 人。

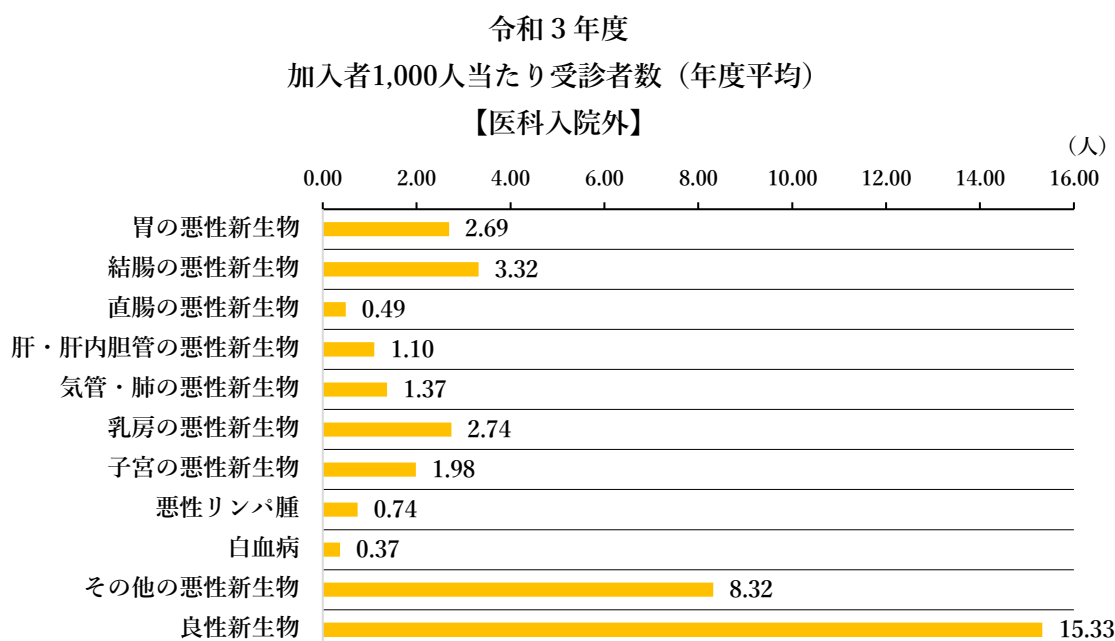


受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

医科入院	受診者数 (年度平均) (人)	加入者 1,000 人当たり 受診者数 (人)
胃の悪性新生物	2,151	0.08
結腸の悪性新生物	4,546	0.17
直腸の悪性新生物	1,296	0.05
肝・肝内胆管の悪性新生物	775	0.03
気管・肺の悪性新生物	2,534	0.09
乳房の悪性新生物	2,842	0.10
子宮の悪性新生物	2,199	0.08
悪性リンパ腫	1,330	0.05
白血病	945	0.03
その他の悪性新生物	13,450	0.49
良性新生物	9,806	0.36
合計	41,874	1.54

2) 医科入院外

- 新生物全体では 38.45 人。良性新生物が 15.33 人と最も多く、次いで、その他の悪性新生物：8.32 人、結腸の悪性新生物：3.32 人。



受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診数（年度平均）

医科入院外	受診者数（年度平均） （人）	加入者 1,000 人当たり 受診者数（人）
胃の悪性新生物	73,086	2.69
結腸の悪性新生物	90,348	3.32
直腸の悪性新生物	13,220	0.49
肝・肝内胆管の悪性新生物	29,913	1.10
気管・肺の悪性新生物	37,364	1.37
乳房の悪性新生物	74,419	2.74
子宮の悪性新生物	53,798	1.98
悪性リンパ腫	20,069	0.74
白血病	10,020	0.37
その他の悪性新生物	226,345	8.32
良性新生物	416,811	15.33
合計	1,045,392	38.45

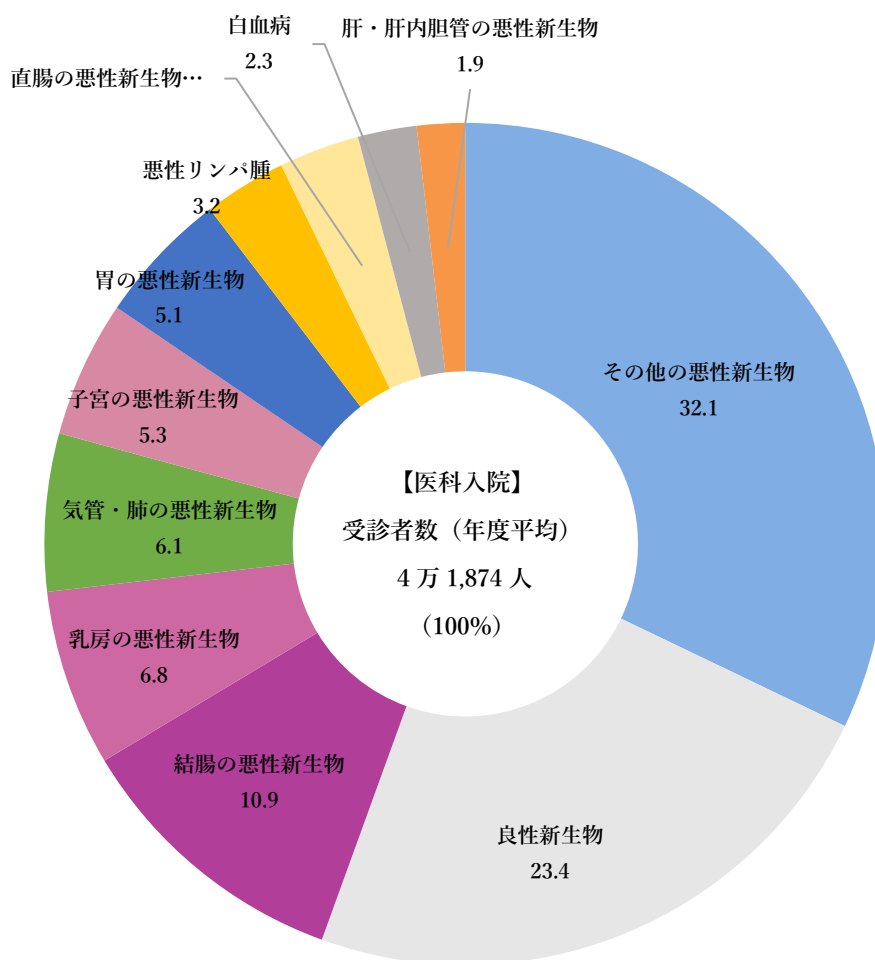
(2) 受診者数（年度平均）の構成割合

1) 医科入院

- 受診者数（年度平均）4万1,874人のうち、①その他の悪性新生物：32.1%、②良性新生物：23.4%、③結腸の悪性新生物：10.9%となっている。

新生物11疾患受診者数（年度平均）の構成割合（%）

【医科入院】

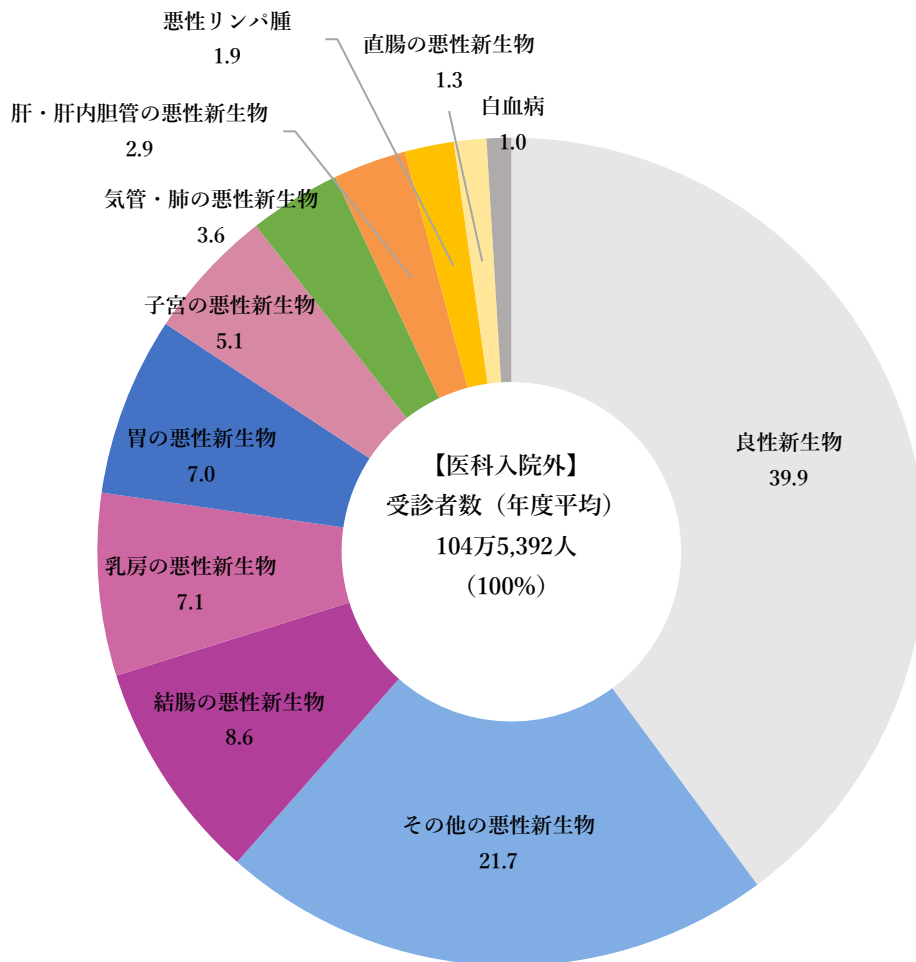


2) 医科入院外

- 受診者数（年度平均）104万5,392人のうち、①良性新生物：39.9%、②その他の悪性新生物：21.7%、③結腸の悪性新生物：8.6%となっている

新生物11疾患受診者数（年度平均）の構成割合（%）

【医科入院外】



(3) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合

1) 医科入院

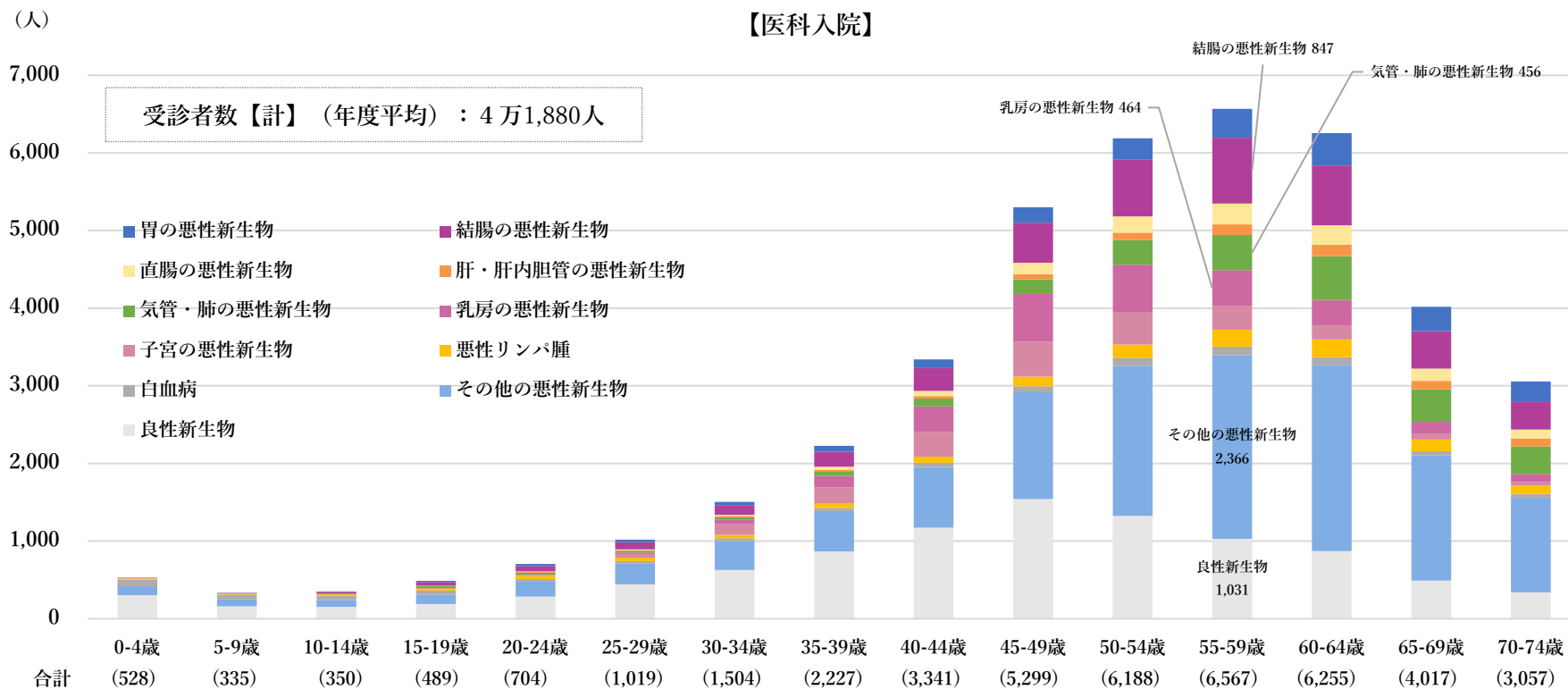
① 受診者数（年度平均）

○ 総数（積み上げ）では55-59歳（6,567人）が最も多く、次いで、60-64歳（6,255人）、50-54歳（6,188人）。

○ 総数が最も多い55-59歳の疾患をみると、その他の悪性新生物（2,366人）が最も多く、次いで、良性新生物（1,031人）、結腸の悪性新生物（847人）。

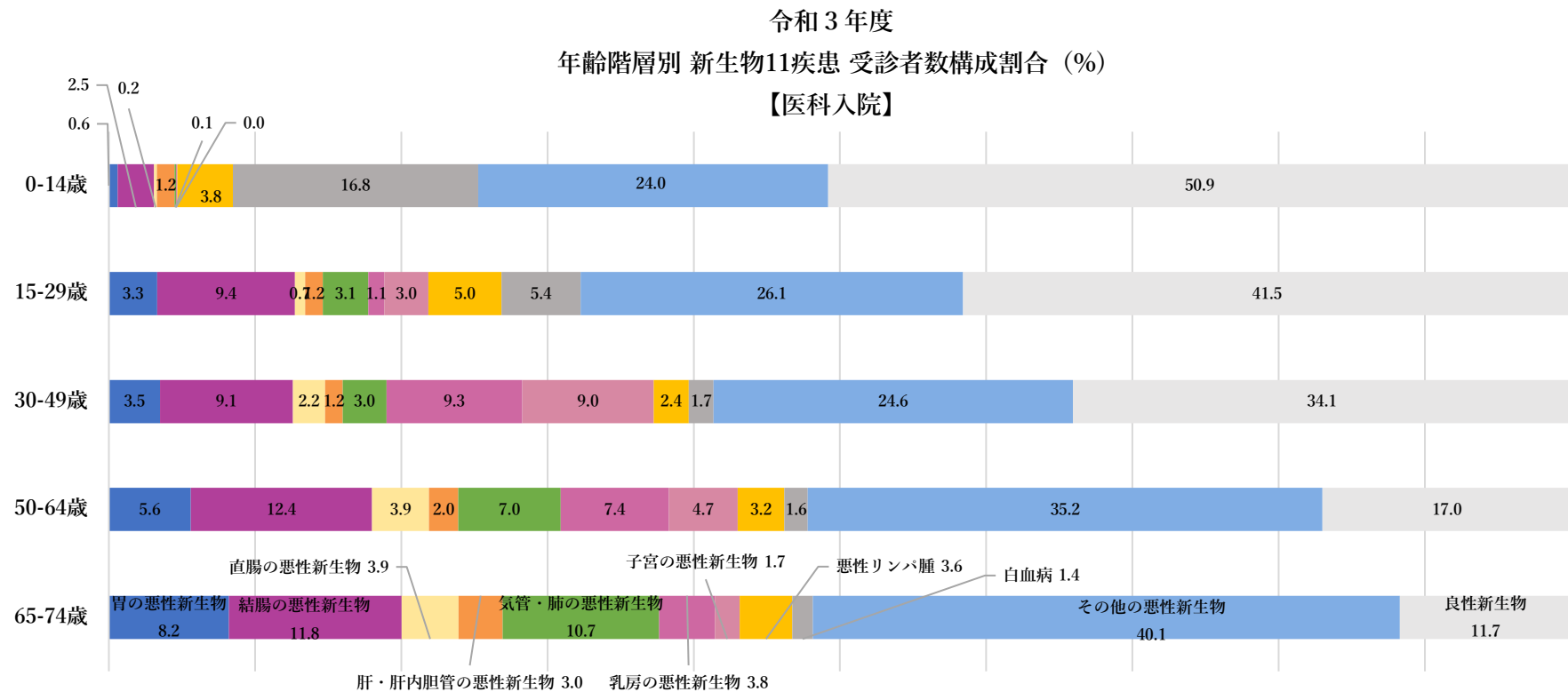
令和3年度 年齢階層別 新生物11疾患 受診者数（年度平均）

【医科入院】



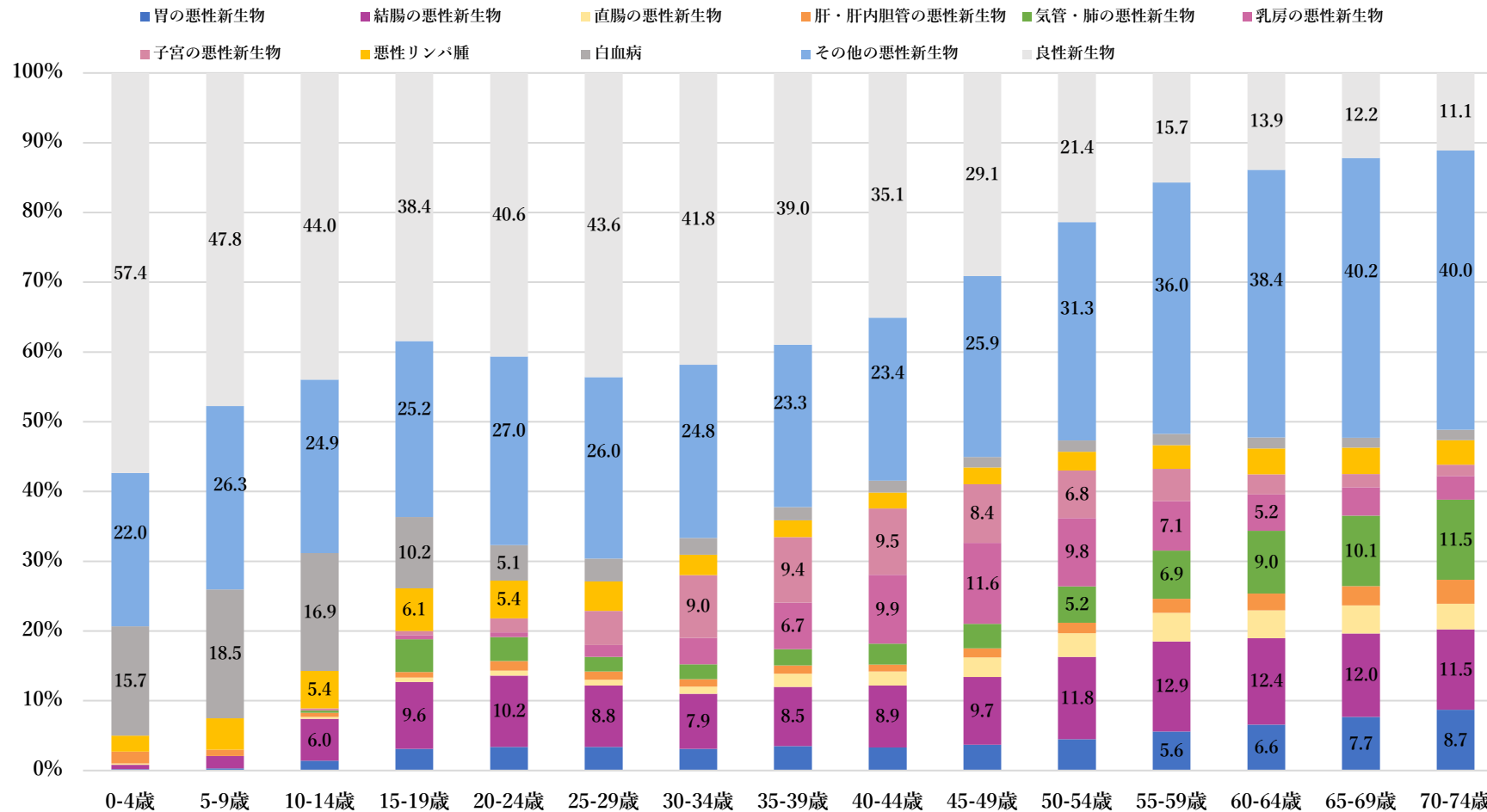
② 構成割合

- どの年齢層でも、良性新生物、その他の悪性新生物の割合が高く、それ以外についてみると、0-14歳では、白血病（16.8%）、悪性リンパ腫（3.8%）、15-29歳では、結腸の悪性新生物（9.4%）、白血病（5.4%）の割合が高い。
- 30-49歳では、乳房の悪性新生物（9.3%）、結腸の悪性新生物（9.1%）、子宮の悪性新生物（9.0%）、50-64歳では、結腸の悪性新生物（12.4%）、乳房の悪性新生物（7.4%）、気管・肺の悪性新生物（7.0%）の割合が高い。
- 65-74歳では、結腸の悪性新生物（11.8%）、気管・肺の悪性新生物（10.7%）、胃の悪性新生物（8.2%）の割合が高い。



(参考①)

令和3年度
年齢階層別 新生物11疾患 受診者数構成割合 (%)
【医科入院】



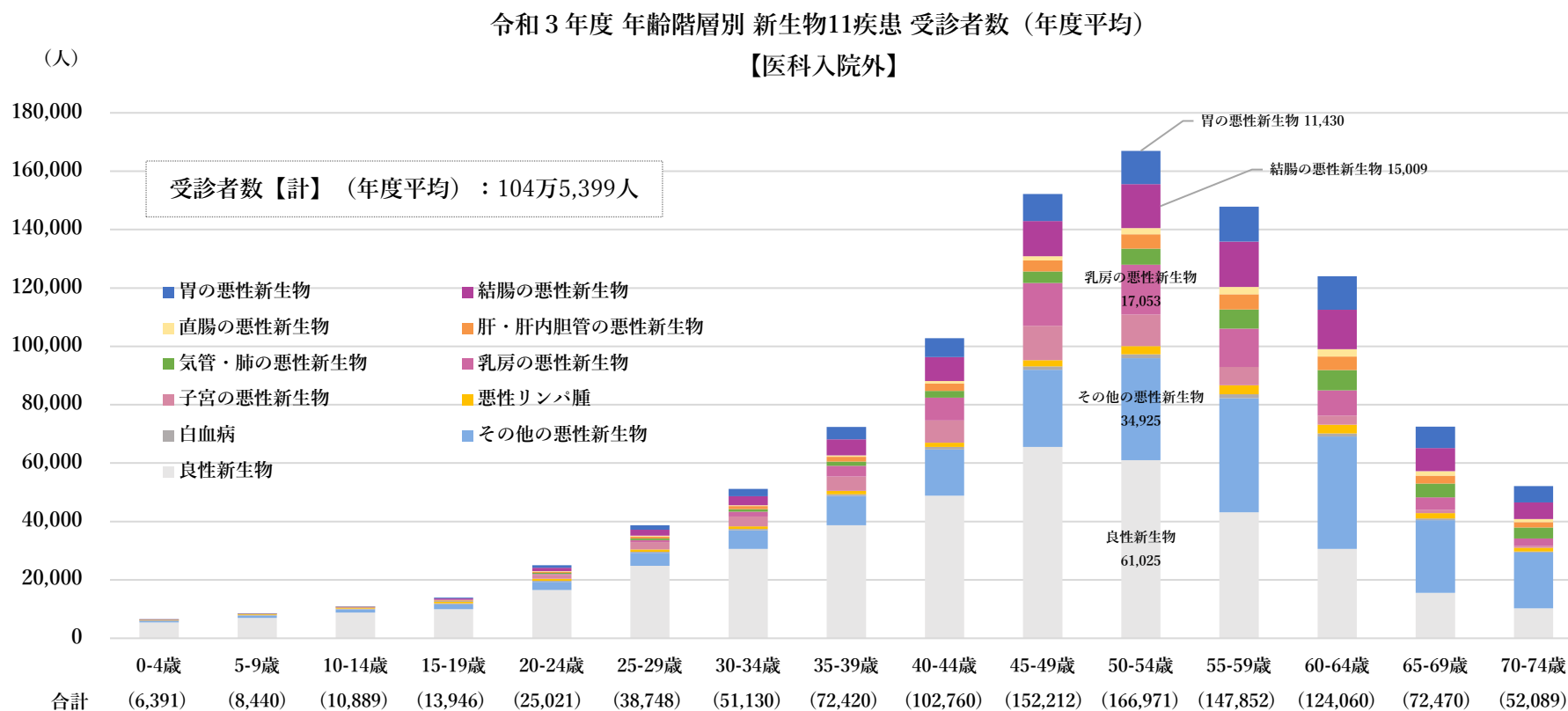
注) グラフ中の構成割合の数値は5%以上を記載。

2) 医科入院外

① 受診者数 (年度平均)

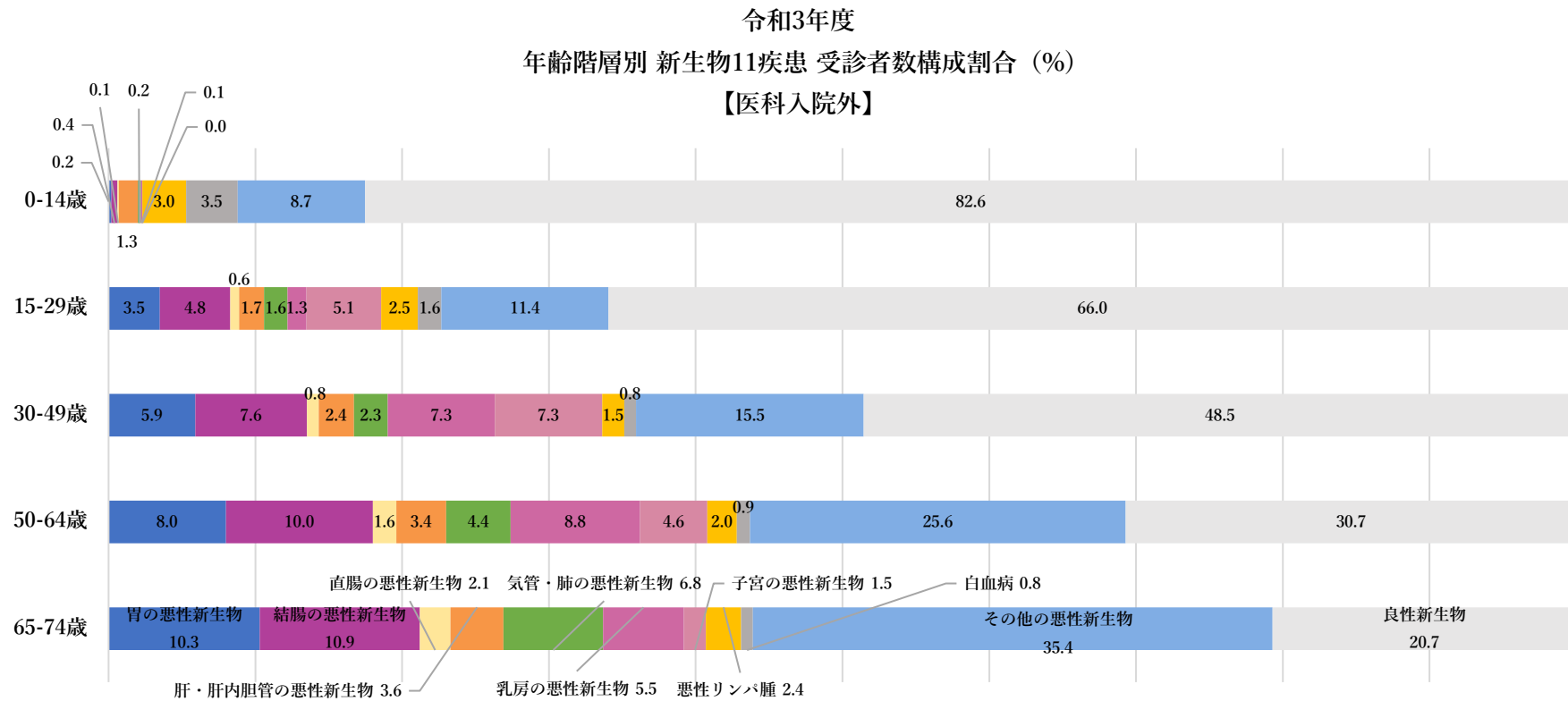
○ 総数 (積み上げ) では 50-54 歳 (16 万 6,971 人) が最も多く、次いで、45-49 歳 (15 万 2,212 人)、55-59 歳 (14 万 7,852 人)。

○ 50-54 歳の疾患をみると、良性新生物 (6 万 1,025 人) が最も多く、次いで、その他の悪性新生物 (3 万 4,925 人)、乳房の悪性新生物 (1 万 7,053 人)。



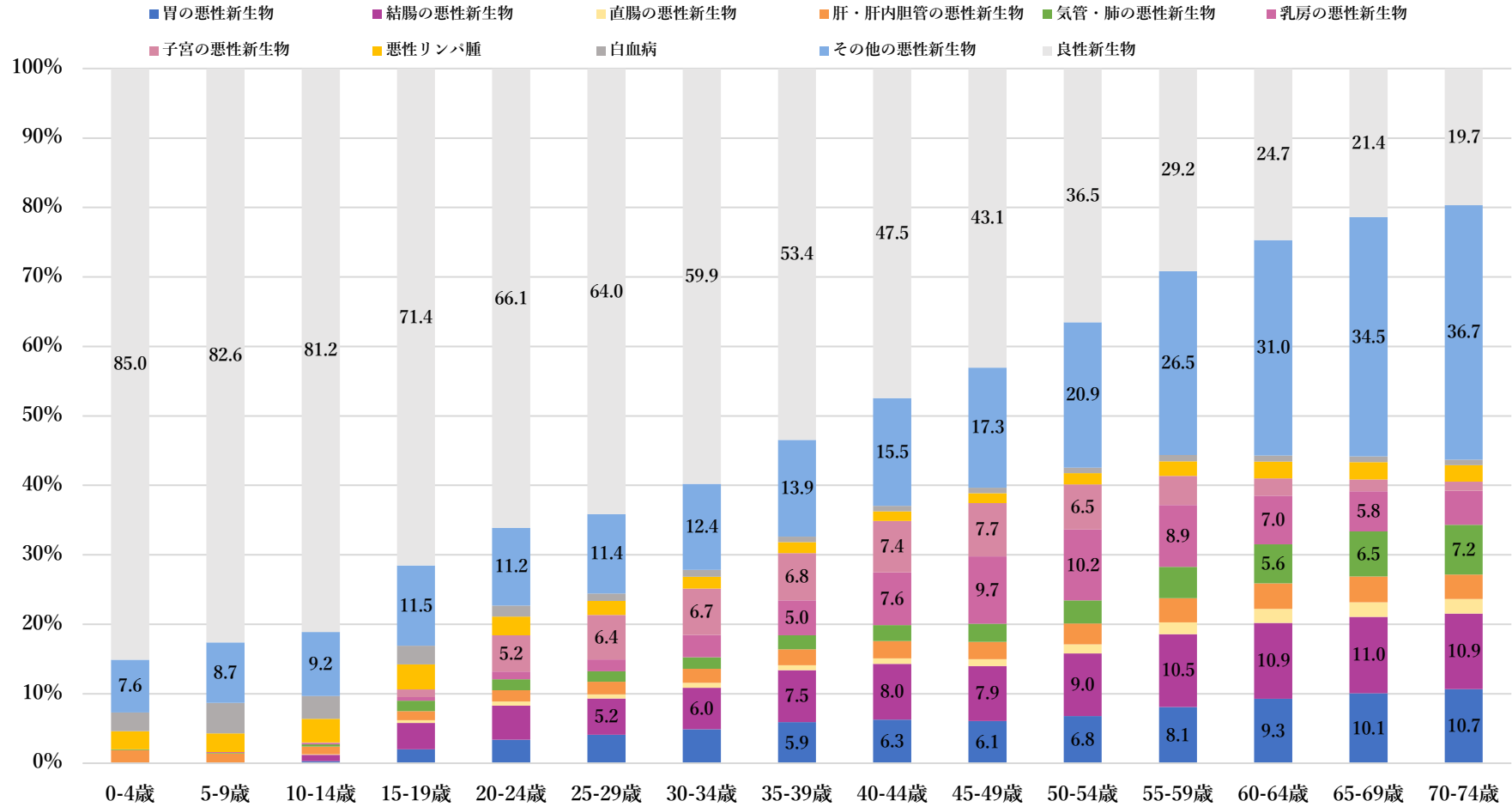
② 構成割合

- どの年齢層でも良性新生物とその他の悪性新生物の割合が高く、それ以外についてみると、0-14歳は、白血病（3.5%）、悪性リンパ腫（3.0%）、15-29歳は、子宮の悪性新生物（5.1%）、結腸の悪性新生物（4.8%）の割合がそれぞれ高い。
- 30-49歳では、結腸の悪性新生物（7.6%）、乳房の悪性新生物、子宮の悪性新生物（7.3%）、50-64歳では、結腸の悪性新生物（10.0%）、乳房の悪性新生物（8.8%）の割合がそれぞれ高い。
- 65-74歳では、結腸の悪性新生物（10.9%）、胃の悪性新生物（10.3%）、気管・肺の悪性新生物（6.8%）の割合が高い。



(参考②)

令和3年度
年齢階層別 新生物11疾患 受診者数構成割合 (%)
【医科入院外】

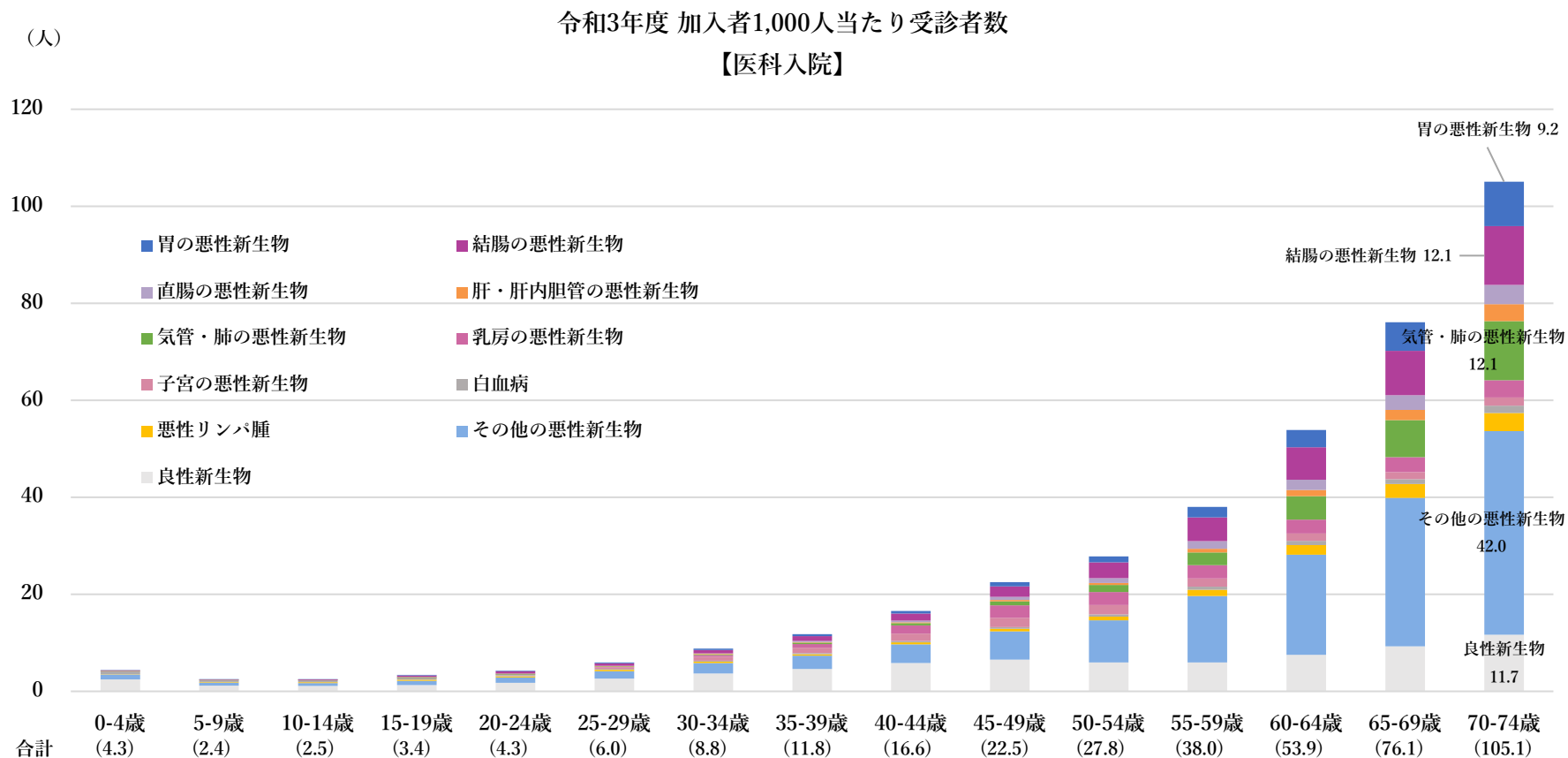


注) グラフ中の構成割合の数値は5%以上を記載。

(4) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

1) 医科入院

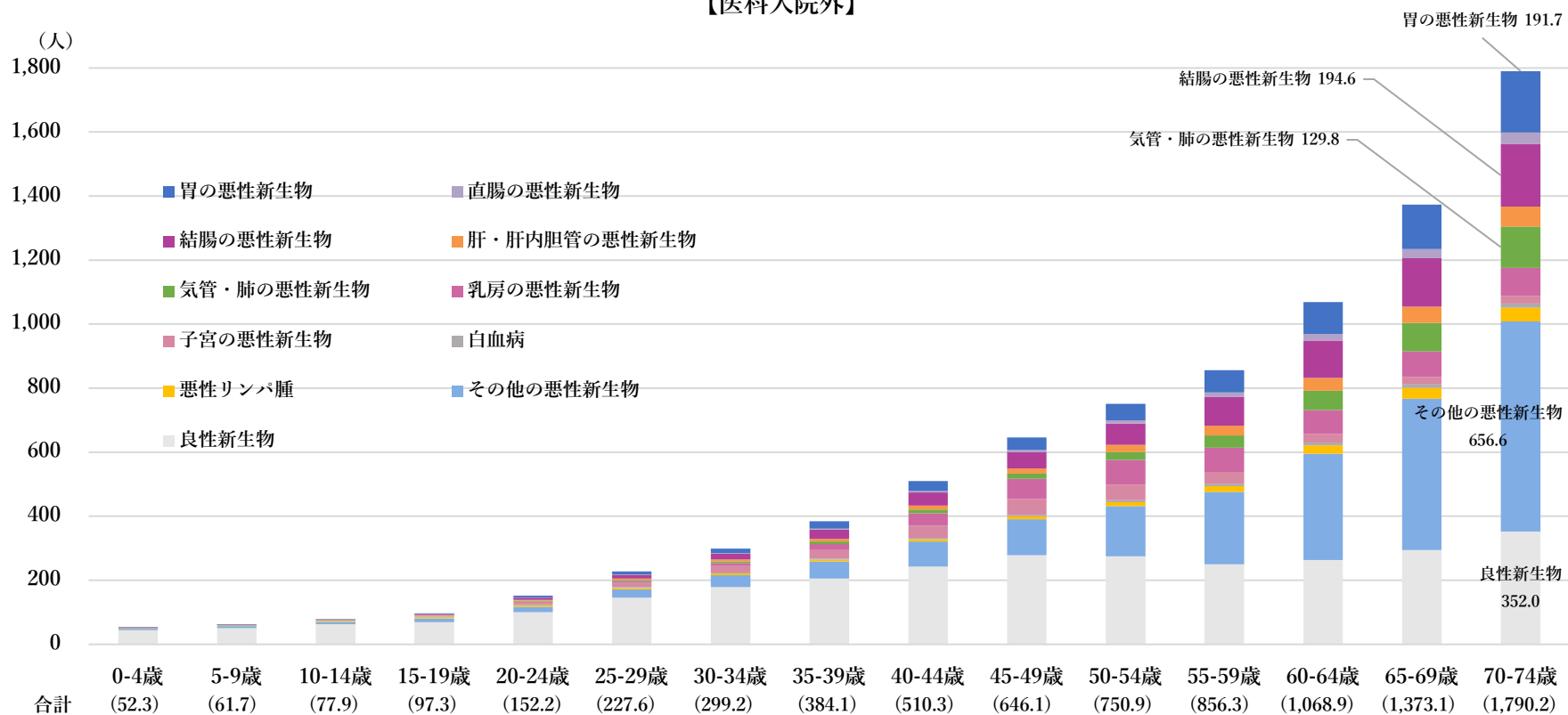
- 総数（積み上げ）では 70-74 歳（105.1 人）が最も多く、次いで、65-69 歳（76.1 人）、60-64 歳（53.9 人）。
- 70-74 歳では、その他の悪性新生物（42.0 人）が最も多く、次いで、気管・肺の悪性新生物、結腸の悪性新生物（12.1 人）。



2) 医科入院外

- 総数（積み上げ）では70-74歳（1,790.2人）が最も多く、次いで、65-69歳（1,373.1人）、60-64歳（1,068.9人）。
- 70-74歳では、その他の新生物（656.6人）が最も多く、次いで、良性新生物（352.0人）、結腸の悪性新生物（194.6人）。

令和3年度 加入者1,000人当たり受診者数
【医科入院外】



3. 新生物 11 疾患でみた医療費の動向

(1) 医療費の概況

1) 医科入院

① 医療費及び構成割合

- 医科入院（8,671 億円）に占める 11 疾患医療費（1,728 億円）の割合は 19.9%。
- その他の悪性新生物が 6.1%（531 億円）と最も高く、次いで、良性新生物：4.4%（384 億円）、乳房の悪性新生物：1.8%（155 億円）。

令和 3 年度 医療費及び構成割合

	医科入院	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類（入院）【計】		867,103,163,090	(100)
11 疾患（入院）【計】		172,805,296,220	19.9
再掲	胃の悪性新生物	7,080,388,040	0.8
	結腸の悪性新生物	9,762,902,490	1.1
	直腸の悪性新生物	7,671,765,620	0.9
	肝・肝内胆管の悪性新生物	2,597,167,070	0.3
	気管・肺の悪性新生物	13,640,517,770	1.6
	乳房の悪性新生物	15,531,979,090	1.8
	子宮の悪性新生物	6,619,391,170	0.8
	悪性リンパ腫	8,979,895,800	1.0
	白血病	9,396,424,410	1.1
	その他の悪性新生物	53,111,282,420	6.1
	良性新生物	38,413,582,340	4.4

② 対前年度比伸び率

- 良性新生物が 4.1%と増加。次いで、悪性リンパ腫：1.6%、乳房の悪性新生物：1.5%。
- 肝・肝内胆管の悪性新生物が▲6.5%と大きく減少。次いで、胃の悪性新生物：▲5.3%、その他の悪性新生物：▲1.9%。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	伸び率（%）
胃の悪性新生物	▲5.3
結腸の悪性新生物	▲0.6
直腸の悪性新生物	1.1
肝・肝内胆管の悪性新生物	▲6.5
気管・肺の悪性新生物	▲1.8
乳房の悪性新生物	1.5
子宮の悪性新生物	▲0.7
悪性リンパ腫	1.6
白血病	▲0.0
その他の悪性新生物	▲1.9
良性新生物	4.1

③ 加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

- その他の悪性新生物が1,953円と最も高く、次いで、良性新生物：1,413円、乳房の悪性新生物：571円。

【受診率】

- その他の悪性新生物が6.0件と最も多く、次いで、良性新生物：4.3件、結腸の悪性新生物：2.0件。

【1件当たり日数】

- 白血病が18.7日と最も長く、次いで、悪性リンパ腫：14.1日、気管・肺の悪性新生物：10.2日。

【1日当たり医療費】

- 乳房の悪性新生物が6万64円と最も高く、次いで、直腸の悪性新生物：5万2,284円、白血病：4万3,312円。

令和3年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

医科入院	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
胃の悪性新生物	260	1.0	10.2	26,682
結腸の悪性新生物	359	2.0	7.2	24,686
直腸の悪性新生物	282	0.6	9.4	52,284
肝・肝内胆管の悪性新生物	96	0.3	10.1	27,532
気管・肺の悪性新生物	502	1.1	10.2	43,283
乳房の悪性新生物	571	1.3	7.5	60,064
子宮の悪性新生物	243	1.0	7.4	33,593
悪性リンパ腫	330	0.6	14.1	39,289
白血病	346	0.4	18.7	43,312
その他の悪性新生物	1,953	6.0	9.9	32,938
良性新生物	1,413	4.3	7.7	42,119

④ 加入者 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率

- 肝・肝内胆管の悪性新生物は▲5.9%と大きく減少。要因として、1 日当たり医療費が 6.1%と大きく増加したが、受診率が▲7.4%、1 件当たり日数が▲4.1%と大きく減少した。胃の悪性新生物は▲4.5%と減少。要因として、1 日当たり医療費が 2.2%増加したが、受診率が▲3.9%、1 件当たり日数が▲2.7%減少した。
- 良性新生物は 5.0%と大きく増加。要因として、1 件当たり日数が▲4.8%と大きく減少したが、1 日当たり医療費が 8.5%と大きく増加し、受診率が 1.6%増加した。

令和 3 年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の 1,235 組合ベース）

	加入者 1 人当たり 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
胃の悪性新生物	▲4.5	▲3.9	▲2.7	2.2
結腸の悪性新生物	0.3	0.9	▲4.3	3.7
直腸の悪性新生物	1.8	0.4	▲3.4	5.1
肝・肝内胆管の悪性新生物	▲5.9	▲7.4	▲4.1	6.1
気管・肺の悪性新生物	▲1.0	▲2.4	▲3.0	4.5
乳房の悪性新生物	2.3	2.8	▲2.3	2.0
子宮の悪性新生物	0.0	4.2	▲6.4	2.7
悪性リンパ腫	2.5	▲3.3	▲4.2	10.6
白血病	0.9	▲2.9	▲1.4	5.3
その他の悪性新生物	▲1.0	0.6	▲5.0	3.6
良性新生物	5.0	1.6	▲4.8	8.5

2) 医科入院外

① 医療費構成割合

- 医科入院外 (2兆7,270億円) に占める 11 疾患医療費 (2,605 億円) の割合は 9.6%。
- その他の悪性新生物が 2.7% (732 億円) と最も高く、次いで、乳房の悪性新生物：1.7% (472 億円)、良性新生物：1.6% (447 億円)。

令和3年度 医療費及び構成比

	医科入院外	医療費 (円)	構成割合 (%)
疾病分類 (入院外) 【計】		2,727,028,883,400	(100)
11 疾患 (入院外) 【計】		260,548,396,820	9.6
(再掲)	胃の悪性新生物	14,754,089,980	0.5
	結腸の悪性新生物	14,398,743,490	0.5
	直腸の悪性新生物	7,145,739,460	0.3
	肝・肝内胆管の悪性新生物	6,290,680,100	0.2
	気管・肺の悪性新生物	22,479,449,340	0.8
	乳房の悪性新生物	47,179,139,020	1.7
	子宮の悪性新生物	6,198,853,780	0.2
	悪性リンパ腫	7,835,113,380	0.3
	白血病	16,364,820,320	0.6
	その他の悪性新生物	73,176,203,140	2.7
	良性新生物	44,725,564,810	1.6

② 対前年度比伸び率

- 肝・肝内胆管の悪性新生物は 17.8%と大きく増加、次いで、気管・肺の悪性新生物は 11.6%、悪性リンパ腫は 10.1%とそれぞれ大きく増加した。
- 直腸の悪性新生物のみ▲1.2%減少した。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	伸び率（%）
胃の悪性新生物	4.6
結腸の悪性新生物	3.3
直腸の悪性新生物	▲1.2
肝・肝内胆管の悪性新生物	17.8
気管・肺の悪性新生物	11.6
乳房の悪性新生物	3.5
子宮の悪性新生物	2.3
悪性リンパ腫	10.1
白血病	3.6
その他の悪性新生物	5.6
良性新生物	5.7

③ 加入者 1 人当たり医療費及び 3 要素

【加入者 1 人当たり医療費】

- その他の悪性新生物が 2,691 円と最も高く、次いで、乳房の悪性新生物：1,735 円、良性新生物：1,645 円。

【受診率】

- 良性新生物が 190.3 件と最も多く、次いで、その他の悪性新生物：103.9 件、結腸の悪性新生物：40.7 件。

【1 件当たり日数】

- 結腸の悪性新生物、直腸の悪性新生物、悪性リンパ腫、その他の悪性新生物が 1.7 日と最も長い。

【1 日当たり医療費】

- 白血病が 8 万 4,234 円と最も高く、次いで、乳房の悪性新生物：3 万 365 円、気管・肺の悪性新生物：2 万 9,618 円。

令和 3 年度 1 人当たり医療費及び 3 要素

	加入者 1 人当たり 医療費	受診率 (件/千人)	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
胃の悪性新生物	543	32.7	1.6	10,224
結腸の悪性新生物	530	40.7	1.7	7,886
直腸の悪性新生物	263	6.0	1.7	25,605
肝・肝内胆管の悪性新生物	231	13.4	1.5	11,396
気管・肺の悪性新生物	827	17.2	1.6	29,618
乳房の悪性新生物	1,735	34.9	1.6	30,365
子宮の悪性新生物	228	24.1	1.6	6,037
悪性リンパ腫	288	9.1	1.7	18,088
白血病	602	4.5	1.6	84,234
その他の悪性新生物	2,691	103.9	1.7	15,184
良性新生物	1,645	190.3	1.5	5,857

④ 加入者 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率

- 肝・肝内胆管の悪性新生物が 19.1%、気管・肺の悪性新生物が 12.5%、悪性リンパ腫が 11.2%と大きく増加した。要因として、1 件当たり日数がそれぞれ▲1.3%、▲1.2%、▲1.1%減少したが、1 日当たり医療費が同 12.5%、9.7%、3.4%増加した。

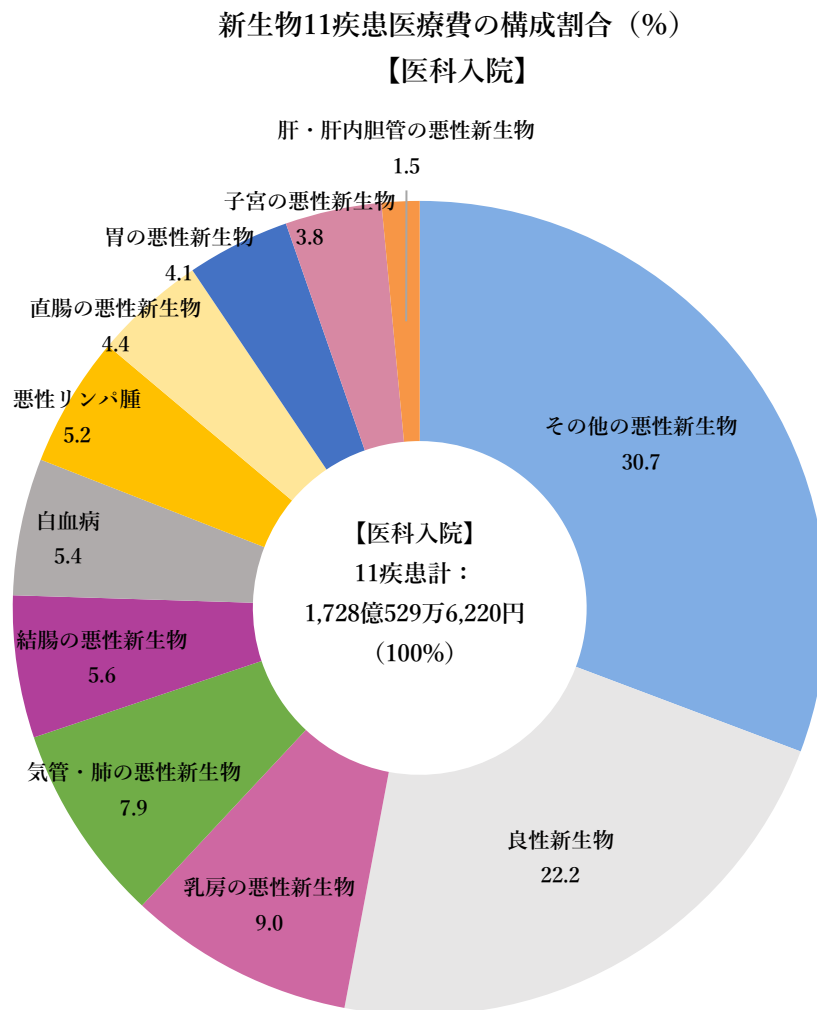
令和 3 年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の 1,235 組合ベース）

	加入者 1 人当たり 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
胃の悪性新生物	5.5	11.5	▲3.0	▲2.9
結腸の悪性新生物	4.1	12.3	▲2.4	▲5.1
直腸の悪性新生物	0.0	7.9	▲1.2	▲6.4
肝・肝内胆管の悪性新生物	19.1	7.3	▲1.3	12.5
気管・肺の悪性新生物	12.5	4.1	▲1.2	9.7
乳房の悪性新生物	4.4	6.6	▲0.6	▲1.6
子宮の悪性新生物	3.1	7.0	▲1.3	▲2.4
悪性リンパ腫	11.2	9.0	▲1.1	3.4
白血病	4.4	5.9	0.0	▲1.3
その他の悪性新生物	6.5	8.8	▲1.2	▲0.8
良性新生物	6.6	9.3	▲2.0	▲0.9

(2) 医療費の構成割合

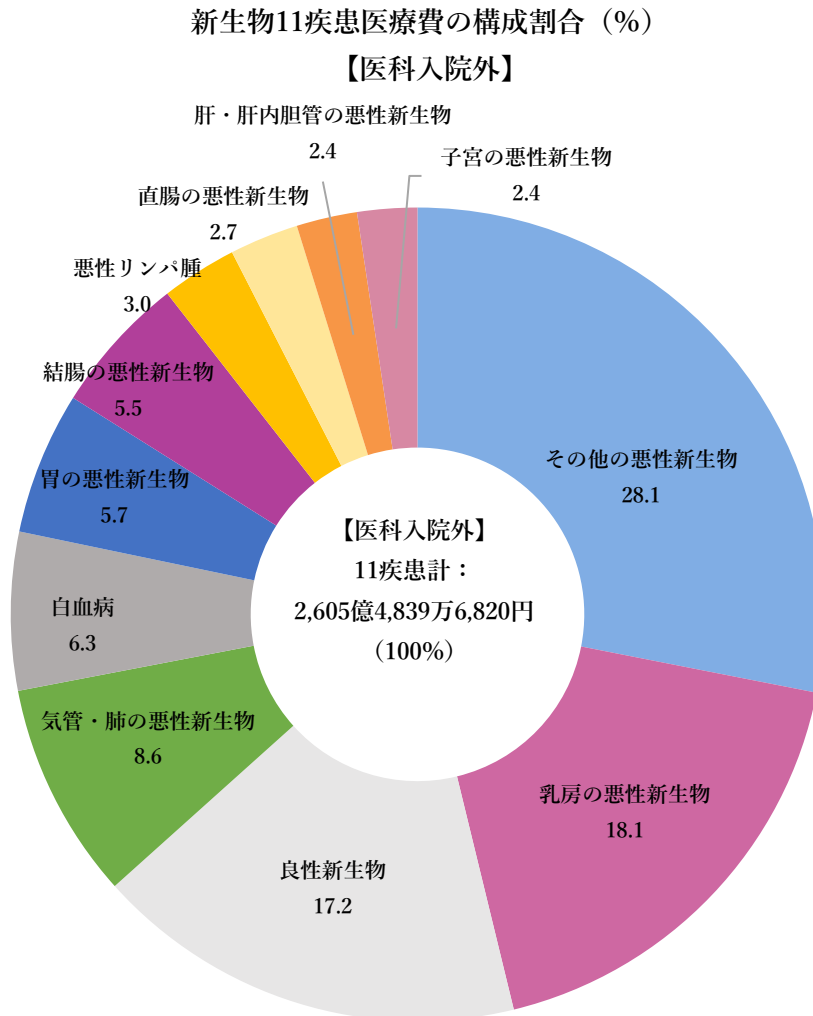
1) 医科入院

- その他の悪性新生物：30.7%が最も高く、次いで、良性新生物が 22.2%、乳房の悪性新生物が 9.0%。



2) 医科入院外

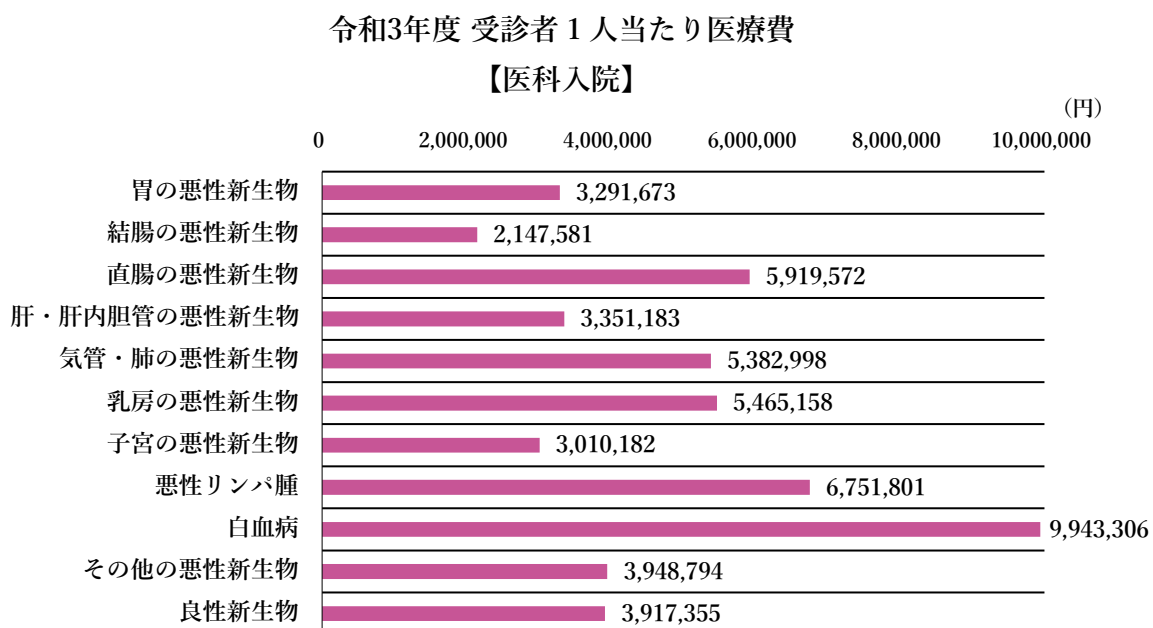
- その他の悪性新生物：28.1%が最も高く、次いで、乳房の悪性新生物が 18.1%、良性新生物が 17.2%。



(3) 受診者1人当たり医療費

1) 医科入院

○ 白血病が994万3,306円と最も高く、次いで、悪性リンパ腫が675万1,801円、直腸の悪性新生物が591万9,572円。



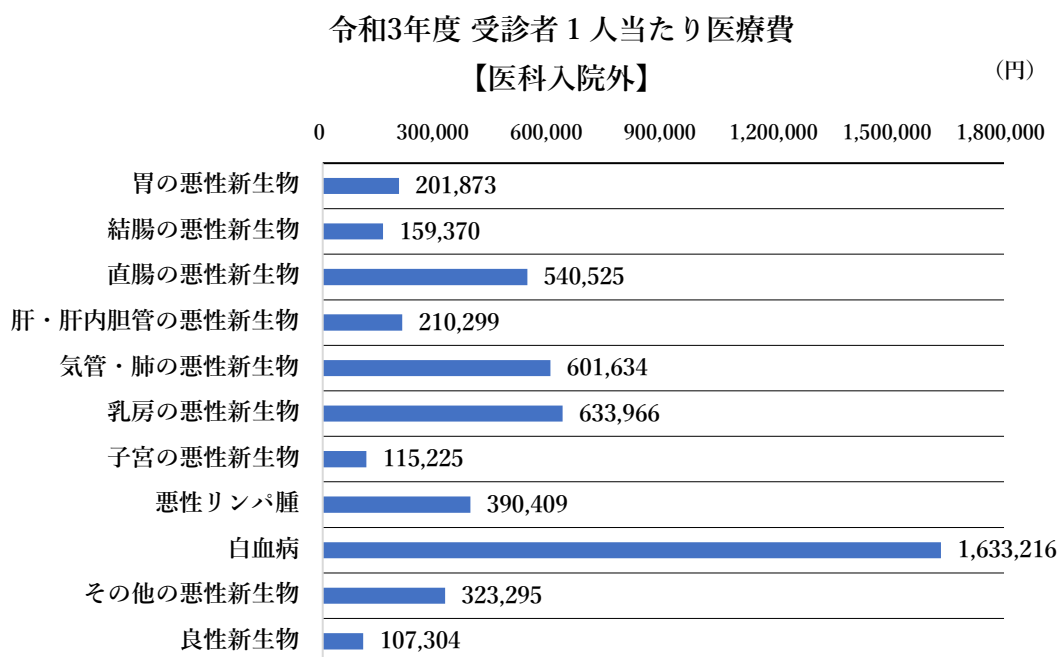
令和3年度 受診者1人当たり医療費

1,308 組合	受診者1人当たり ³ 医療費(円)	加入者1,000人当たり 受診者数(人)	加入者1人当たり 医療費(円)
胃の悪性新生物	3,291,673	0.08	260
結腸の悪性新生物	2,147,581	0.17	359
直腸の悪性新生物	5,919,572	0.05	282
肝・肝内胆管の悪性新生物	3,351,183	0.03	96
気管・肺の悪性新生物	5,382,998	0.09	502
乳房の悪性新生物	5,465,158	0.10	571
子宮の悪性新生物	3,010,182	0.08	243
悪性リンパ腫	6,751,801	0.05	330
白血病	9,943,306	0.03	346
その他の悪性新生物	3,948,794	0.49	1,953
良性新生物	3,917,355	0.36	1,413

³ 加入者1人当たり医療費=加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費

2) 医科入院外

- 白血病が 163 万 3,216 円と圧倒的に高く、次いで、乳房の悪性新生物：63 万 3,966 円、気管・肺の悪性新生物：60 万 1,634 円。



令和3年度 受診者 1 人当たり医療費

1,308 組合	受診者 1 人当たり ⁴ 医療費(円)	加入者 1,000 人当たり 受診者数(人)	加入者 1 人当たり 医療費(円)
胃の悪性新生物	201,873	2.69	543
結腸の悪性新生物	159,370	3.32	530
直腸の悪性新生物	540,525	0.49	263
肝・肝内胆管の悪性新生物	210,299	1.10	231
気管・肺の悪性新生物	601,634	1.37	827
乳房の悪性新生物	633,966	2.74	1,735
子宮の悪性新生物	115,225	1.98	228
悪性リンパ腫	390,409	0.74	288
白血病	1,633,216	0.37	602
その他の悪性新生物	323,295	8.32	2,691
良性新生物	107,304	15.33	1,645

⁴ 加入者 1 人当たり医療費 = 加入者 1 人当たり受診者数 × 受診者 1 人当たり医療費

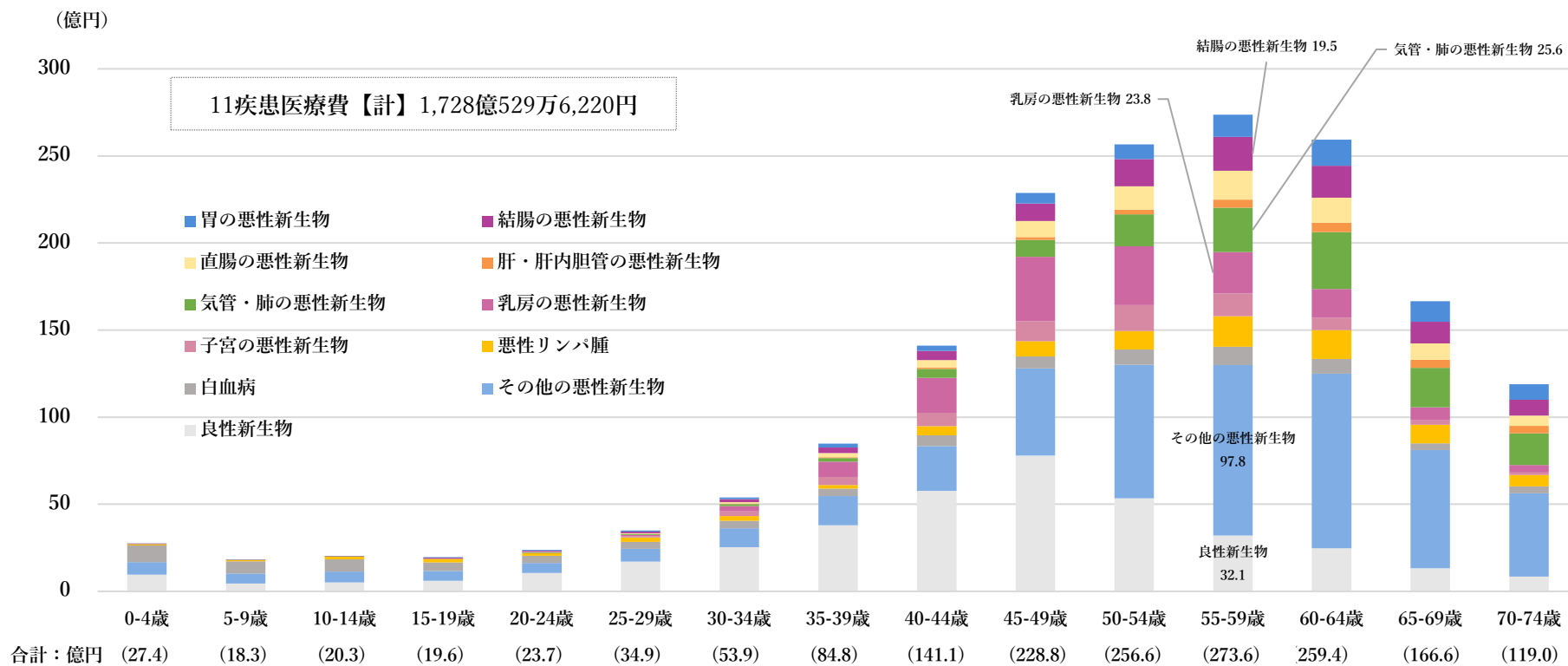
(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合

1) 医科入院

① 医療費

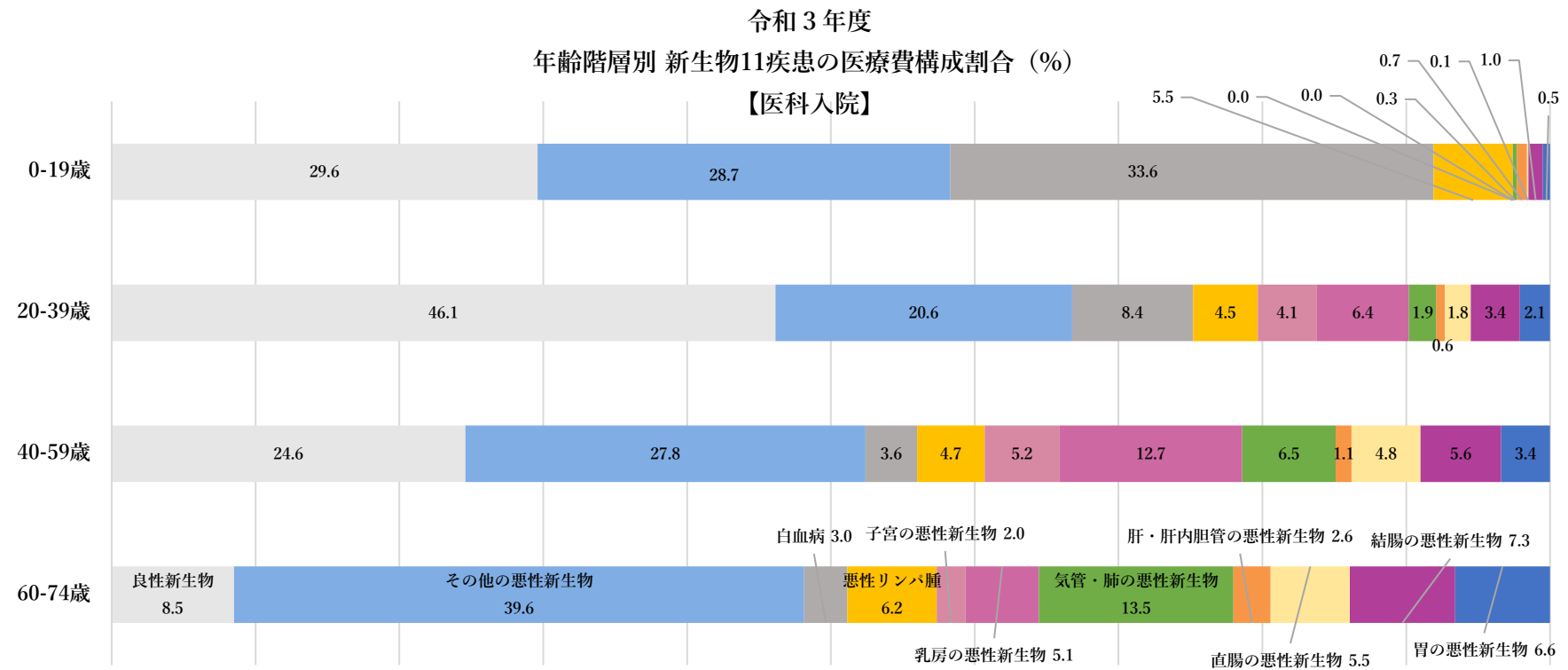
- 総額（積み上げ）では55-59歳（273.6億円）が最も高く、次いで、60-64歳（259.4億円）、50-54歳（256.6億円）。
- 55-59歳の疾患をみると、その他の悪性新生物（97.8億円）が最も多く、次いで、良性新生物（32.1億）、気管・肺の悪性新生物（25.6億円）。

令和3年度 年齢階層別 新生物11疾患医療費【医科入院】



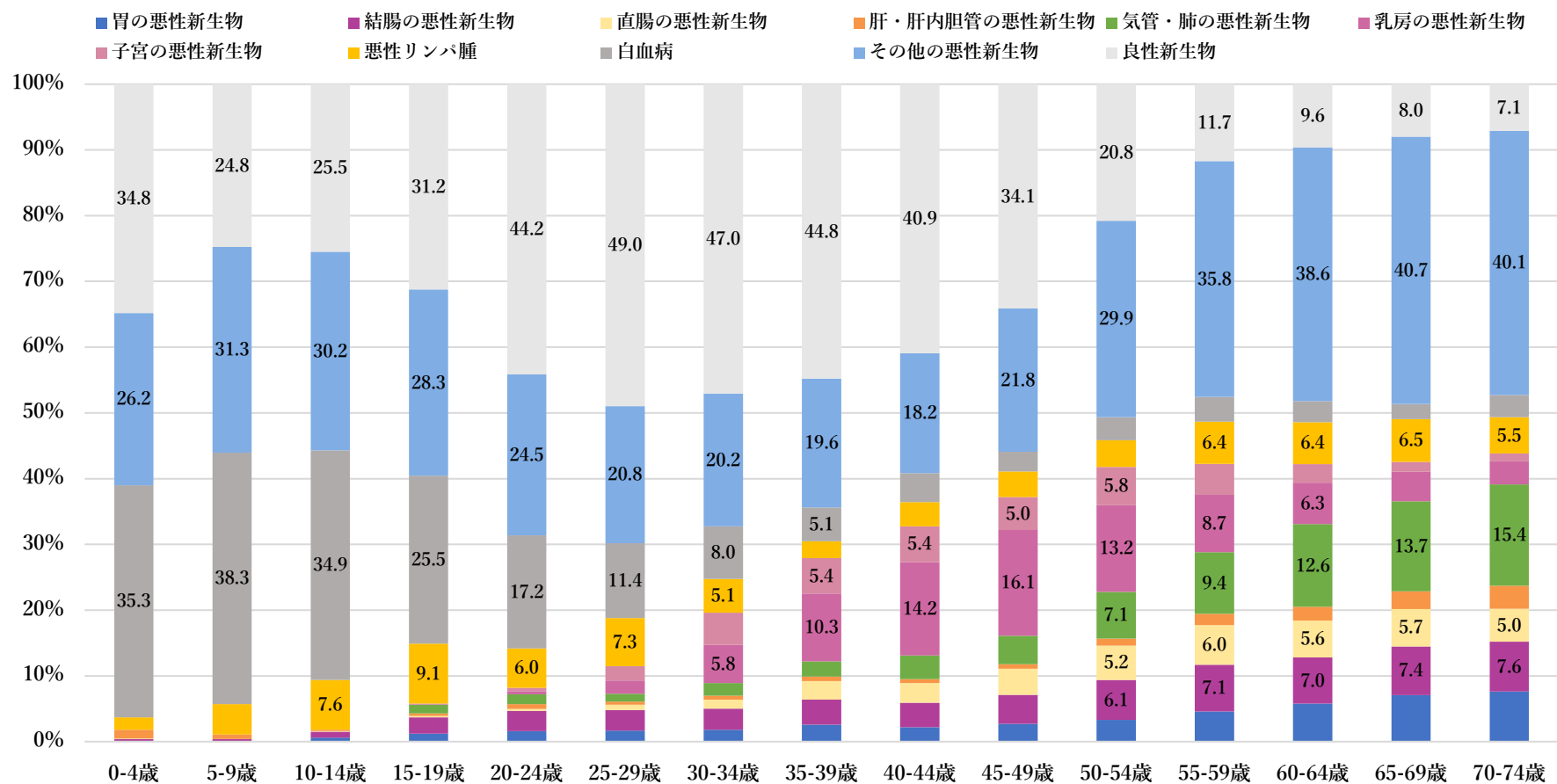
② 構成割合

- どの年齢階層区分でもその他の悪性新生物、良性新生物の割合が目立ち、それ以外についてみると、0-19歳では白血病（33.6%）、悪性リンパ腫（5.5%）、20-39歳では白血病（8.4%）、乳房の悪性新生物（6.4%）の割合がそれぞれ高い。
- 40-59歳では、乳房の悪性新生物（12.7%）、気管・肺の悪性新生物（6.5%）、結腸の悪性新生物（5.6%）の割合が高い。
- 60-74歳では、気管・肺の悪性新生物（13.5%）、結腸の悪性新生物（7.3%）、胃の悪性新生物（6.6%）の割合が高い。



(参考③)

令和3年度
年齢階層別 新生物11疾患 医療費構成割合 (%)
【医科入院】



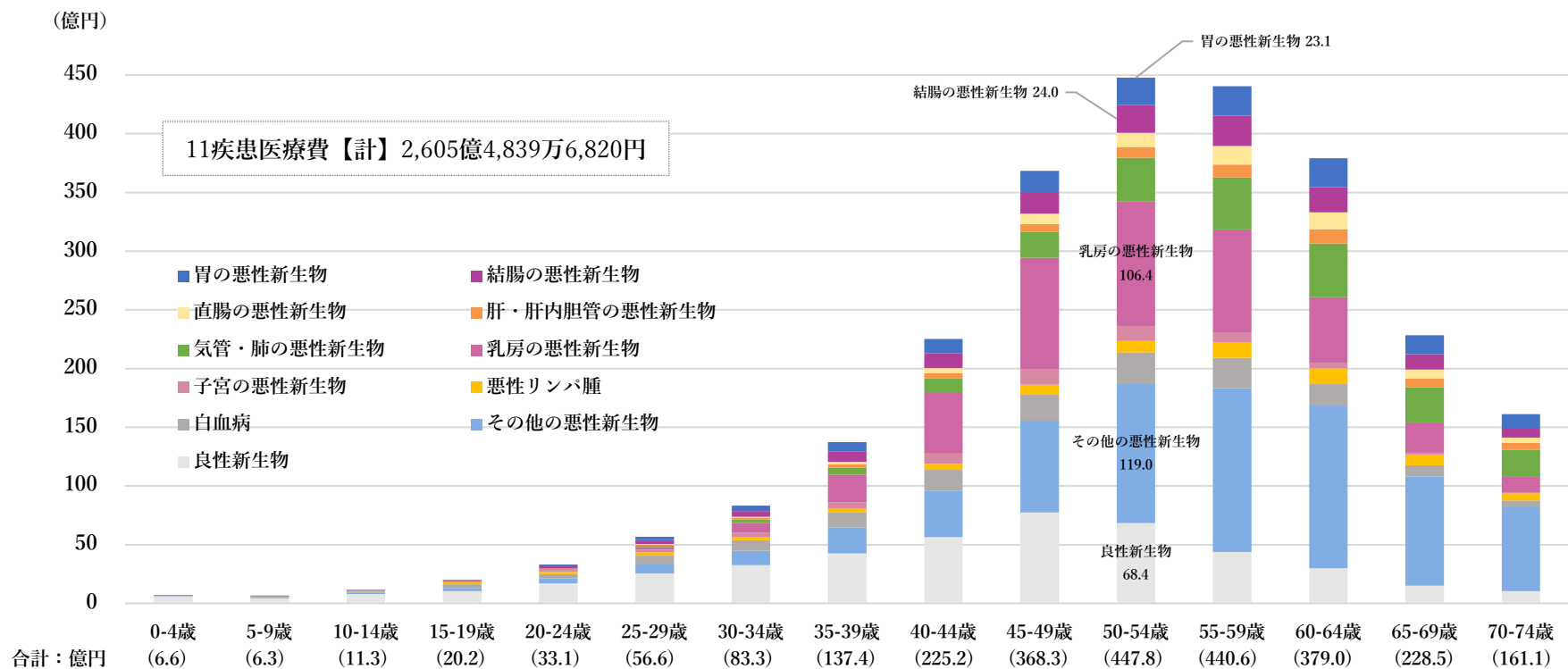
注) グラフ中の構成割合の数値は5%以上を記載。

2) 医科入院外

① 医療費

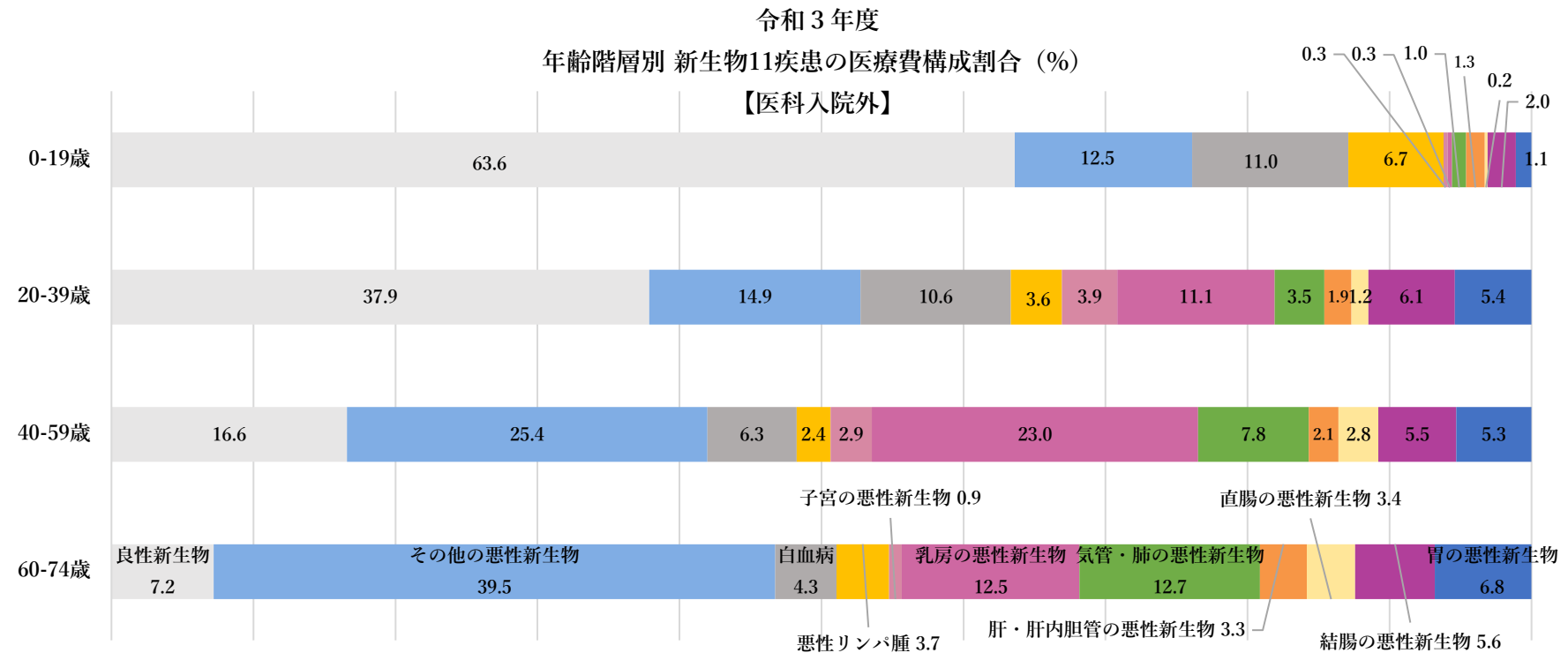
- 総額（積み上げ）では50-54歳（447.8億円）が最も高く、次いで、55-59歳（440.6億円）、60-64歳（379.0億円）。
- 総額が最も高い50-54歳の疾患をみると、その他の悪性新生物（119.0億円）が最も多く、次いで、乳房の悪性新生物（106.4億円）、良性新生物（68.4億円）。

令和3年度 年齢階層別 新生物11疾患医療費【医科入院外】



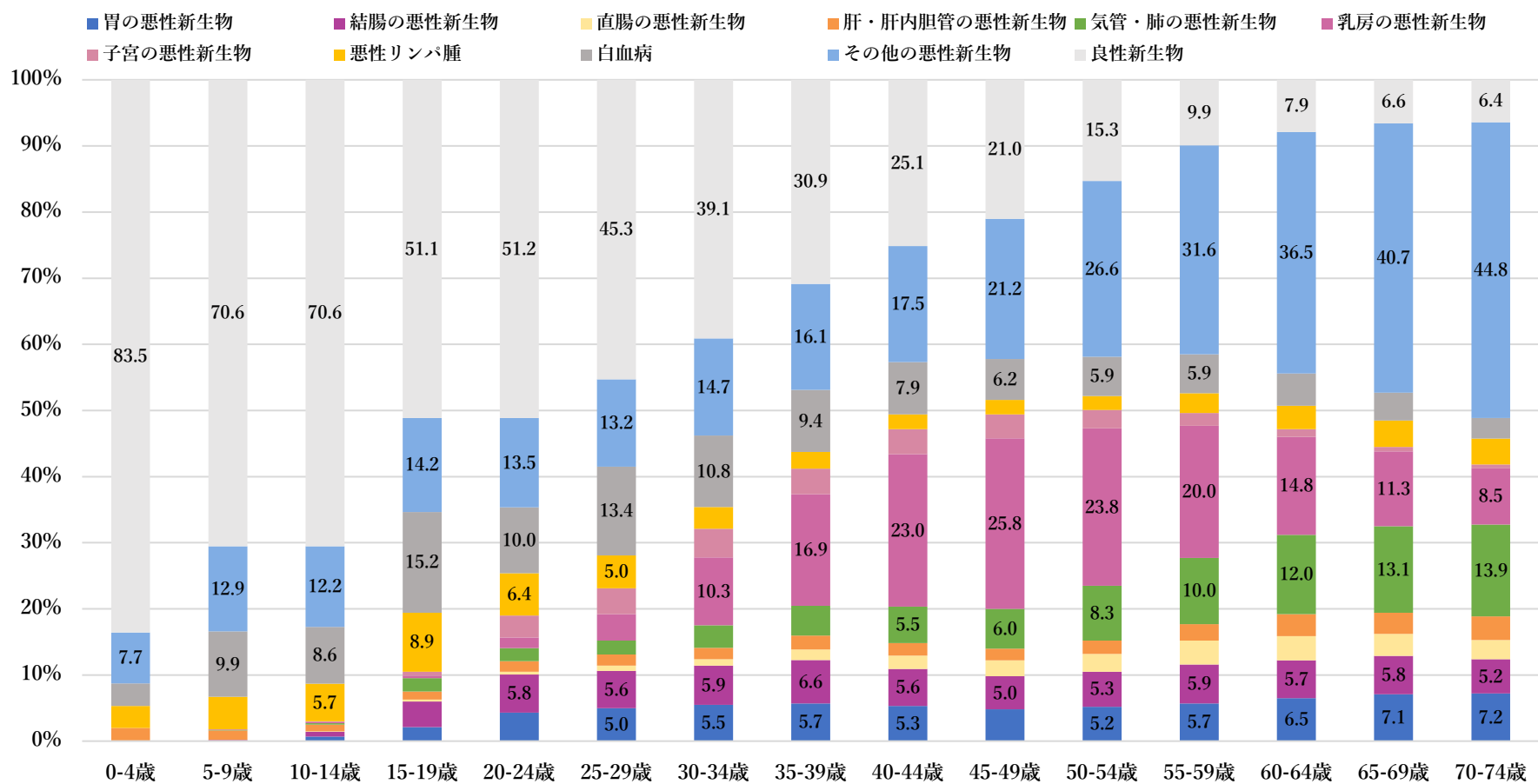
② 構成割合

- どの年齢階層区分でも良性新生物、その他の悪性新生物の割合が目立ち、それ以外についてみると、0-19 歳では白血病（11.0%）、悪性リンパ腫（6.7%）、20-39 歳では、乳房の悪性新生物（11.1%）、白血病（10.6%）の割合がそれぞれ高い。
- 40-59 歳では、乳房の悪性新生物（23.0%）、気管・肺の悪性新生物（7.8%）、白血病（6.3%）の割合が高い。
- 60-74 歳では、気管・肺の悪性新生物（12.7%）、乳房の悪性新生物（12.5%）、胃の悪性新生物（6.8%）の割合が高い。



(参考④)

令和3年度
年齢階層別 新生物11疾患 医療費構成割合 (%)
【医科入院外】

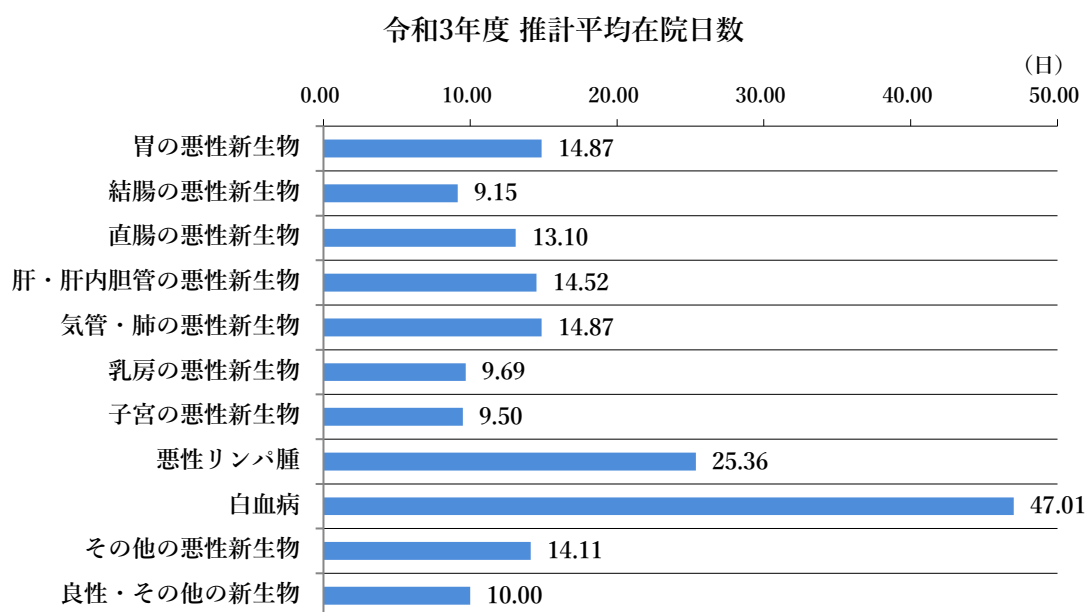


注) グラフ中の構成割合の数値は5%以上を記載。

(5) 推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費、推計新規入院件数

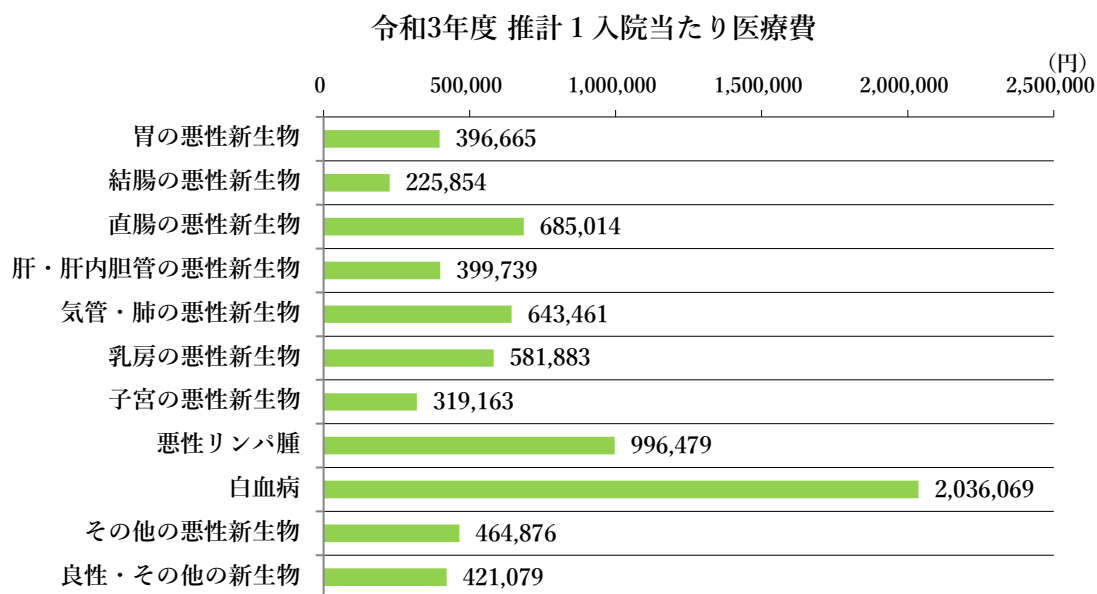
1) 推計平均在院日数

- 白血病が47.01日と最も長く、次いで、悪性リンパ腫：25.36日、胃の悪性新生物、気管・肺の悪性新生物：14.87日。



2) 推計1入院当たり医療費

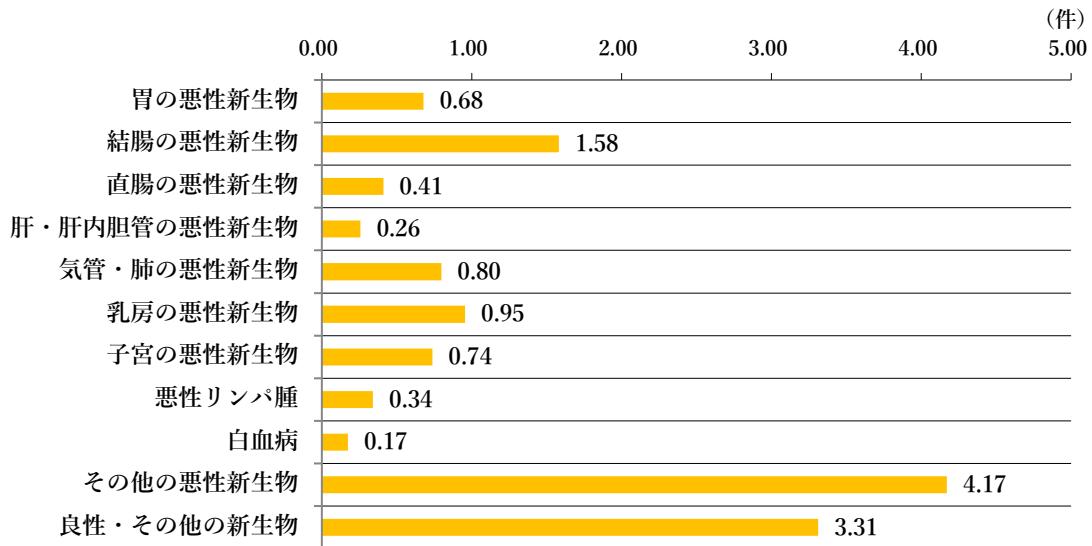
- 白血病が203万6,069円と最も高く、次いで、悪性リンパ腫：99万6,479円、直腸の悪性新生物：68万5,014円。



3) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

- その他の悪性新生物：4.17 件が最も高く、次いで、良性・その他の新生物：3.31 件、結腸の悪性新生物：1.58 件となっている。

令和3年度 加入者1,000人当たり推計新規入院件数



推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数

	推計平均在院日数 (日) ⁵	推計 1 入院当たり 医療費 (円) ⁶	加入者 1,000 人当 たり推計新規入院 件数 (件) ⁷
胃の悪性新生物	14.87	396,665	0.68
結腸の悪性新生物	9.15	225,854	1.58
直腸の悪性新生物	13.10	685,014	0.41
肝・肝内胆管の悪性新生物	14.52	399,739	0.26
気管・肺の悪性新生物	14.87	643,461	0.80
乳房の悪性新生物	9.69	581,883	0.95
子宮の悪性新生物	9.50	319,163	0.74
悪性リンパ腫	25.36	996,479	0.34
白血病	47.01	2,036,069	0.17
その他の悪性新生物	14.11	464,876	4.17
良性新生物	10.00	421,079	3.31

⁵ 退院日を含む平均在院日数の推計値である。

⁶ 入院患者 1 人に掛かる入院してから退院までの医療費の推計値である。

⁷ 当該年度の 4 月～3 月までの各月に入院した患者数の合計 (推計) を 1,000 倍したものである。

なお、「入院医療費の 3 要素分解」については次頁 (p44) を参照のこと。

【参考】入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、①【推計新規入院件数】（入院発生）、②【推計平均在院日数】（入院期間）、③【入院の1日当たり医療費】（入院単価）の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」（*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できます。

推計平均在院日数

$$\text{推計平均在院日数} = \text{1件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} * -1 \text{日}}{\text{月の日数} - 1 \text{件当たり日数}}$$

推計1入院当たり医療費

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

推計新規入院件数

$$\text{推計新規入院件数} = \text{受診率(件)} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{日}}$$

入院医療費

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/iryuhoken03/06.html>) 及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3)をもとに作成

*計算式における「月の日数」について

【単月】の場合

1ヵ月の暦日数。

例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)

【複数月】の場合

複数月の日数の合計を月数で割ったもの。

例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日÷12=30.42(≒30.5)
